

- 要因. 子どもの心とからだ (0918-5526) 2002;11(1):70.
61. 二宮恒夫. 「生命倫理・死生観」の啓蒙活動について ドメスティックバイオレンス(DV)の子どもへの心理的影響と医師の役割. 香川県医師会誌 (0288-3201) 2002;54(6):9.
  62. 納谷保子. 【アレルギー疾患の発現と経過に影響を及ぼす人間関係】子どもの虐待の現状と対応からみた親子の問題点. アレルギー・免疫(1344-6932) 2002;9(4):438-443.
  63. 米山奈奈子. DV 法成立と医療現場 DV に立ち向かう専門家たち マサチューセツ総合病院. 精神看護(1343-2761) 2002;5(2):60-64.
  64. 米山奈奈子. 【虐待 今ナースとしてできること】虐待を疑うサインと対応 ドメスティック・バイオレンス(DV). エキスパートナース(0911-0194) 2002;18(5):96-97.
  65. 片田珠美. 発病初期に起こりうる「動機なき殺人」. 臨床精神病理(0389-3723) 2002;23(1):53-54.
  66. 牧田浩一, 阪武彦, 田中雄三. 「むかつき」「キレル」現象と攻撃性との関連性及び SCT(文章完成法テスト)の特徴. 九州神経精神医学(0023-6144) 2002;48(1):15-28.
  67. 牧田浩一, 田中雄三. 被虐待児に対するコラーヂン療法を試み. 日本芸術療法学会誌(0916-6688) 2002;32(1):21-29.
  68. 木原雅子, 木原正博. 【ゆるる人間のきずな 21世紀家族のゆくえ】キレル子どもたち 人間形成の原点から性教育を考える 若者の性行動の実態について. 産婦人科の世界(0386-9873) 2002;54(3):333-338.
  69. 野津牧. 児童虐待への対応 開業医として何ができるのか. In: 保団連(0288-5093); 2002; 2002. p. 66-70.
  70. 矢野かおり, 吉川悟. 虐待の背景を持つ摂食障害患者へのシステムズアプローチ. 心療内科(1342-9892) 2002;6(1):46-51.
  71. 林幹也, 林照子, 石田雅人. 暴力行動の危険信号 -- アメリカにおける青少年暴力の予防対策. 大阪教育大学紀要第 IV 部門 2002;50(2):363-373.
  72. 姜昌勲, 杉原克比古, 五十嵐潤, 松下棟治, 岸本年史. クエチアピンにより病的多飲が改善した精神分裂病患者の 1 例. Pharma Medica(0289-5803) 2002;20(1):161-165.
  73. 櫻庭京子, 今泉敏, 箕一彦. 音声による感情表現の発達の検討. 音声言語医学(0030-2813) 2002;43(1):1-8.
  74. 齊藤万比古, 笠原麻里, 佐藤至子, 細谷欣也, 櫻井優子, 細金奈々, et al. 注意欠陥/多動性障害の診断・治療ガイドライン研究 注意欠陥/多動性障害に伴う併存障害の診断・病態・治療に関する総合的研究(2) 併存障害の本調査結果の中間報告. In: 厚生省精神・神経疾患研究委託費による 12 年度研究報告集; 2002; 2002. p. 293.
  75. 小林秀資, 南砂, 松崎一葉, 他. 座談会 青少年暴力へのアプローチ(2) (特集=青少年暴力(2)). 公衆衛生 2001.12;6(12):884-890.
  76. 小林秀資, 南砂, 松崎一葉, 他. 座談会 青少年暴力へのアプローチ(1) (特集 青少年暴力(1)). 公衆衛生 2001.11;6(11):809-814.
  77. 大淵憲一. 特別企画 子どもの攻撃性が暴力にかわるとき(4) 青少年の暴力と集団. 児童心理 2001.4;55(5 通号 748):538-544.
  78. 大淵憲一. 特別企画 子どもの攻撃性が暴力にかわるとき(3) マス・メディアの影響. 児童心理 2001.3;55(4 通号 747):397-403.
  79. 大淵憲一. 特別企画 子どもの攻撃性が暴力にかわるとき(2) 青年期の暴力と自己関心. 児童心理 2001.2;55(2 通号 745):106-112.
  80. 大淵憲一. 特別企画 子どもの攻撃性が暴力にかわるとき(1) 非行の現実と青年期心理. 児童心理 2001.1;55(1 通号 744):105-111.
  81. Kobayashi T, Nisijima K, Ehara Y, Otsuka K, Kato S. 音感シフト カルバマゼピンの稀な副作用 (Pitch perception shift: A rare side-effect of carbamazepine). Psychiatry and Clinical Neurosciences(1323-1316) 2001;55(4):415-417.
  82. Minagawa K-e, Kasai N, Takeda B. 生活技術教育における教育者トレーニングプログラム 日本における教育者 (A Study of Trainer's Training Program In Life Skills Education: Who Training In Japan). 学校保健研究(0386-9598) 2001;42(Suppl.):14-15.
  83. Miyake Y, Kawada K, Todani S, Iwase T, Shibamoto H, Takeda N. 学童と介護施設に入所中の要介護高齢者との社会的交流集会に関連したアンケートのレビュー (Review of Questions Asked Concerning Social Exchange Gatherings of School Children and the Elderly who Need Long-term Care and Live in Care Facilities). 学校保健研究(0386-9598) 2001;42(Suppl.):98-101.
  84. 伊藤順一郎. 【家族臨床の課題 「17 歳問題」への理解とアプローチの視点を求めて】 問題にどのようにかかわっていくか ニーズの見立て・連携の工夫. 家族療法研究(0910-6022) 2001;18(3):230-231.
  85. 伊藤直人, 飯田順三, 岩坂英巳, 畑和也, 徳山明広, 根来秀樹, et al. 注意欠陥多動性障害における mismatch negativity(MMN). In: 日本児童青年精神医学会 42 回総会抄録集; 2001; 2001. p. 109.
  86. 伊藤陽, 吉田浩樹, 小林勇. Fluvoxamine が奏効した家庭内暴力の 1 例. 精神医学(0488-1281) 2001;43(12):1353-1356.
  87. 衣笠隆幸. 臨床における父親像 臨床における破壊的父親像について. 思春期青年期精神医学(0917-3307) 2001;11(1):22-30.
  88. 井上洋一, 水田一郎, 小川朝生. 【小児・思春期の精神障害治療ガイドライン】 従来診断による主な問題 家庭内暴力. 精神科治療学(0912-1862)

- 2001;16(増刊):389-393.
89. 稲村茂, 飯島壽佐美. 思春期・青年期親の会の試み. 精神神経学雑誌(0033-2658) 2001;103(9):721.
  90. 碓井真史. 【青少年暴力】 暴力に走る少年 スクールカウンセラーの立場から. 公衆衛生(0368-5187) 2001;65(12):871-873.
  91. 浦部大策. 【心の問題への小児科医の対応】 小児虐待. 小児科(0037-4121) 2001;42(10):1575-1583.
  92. 塩川宏郷. 【心の問題への小児科医の対応】 校内暴力. 小児科(0037-4121) 2001;42(10):1529-1536.
  93. 塩川宏郷, 宮本信也. 【小児救急医療の実際 重症化の予知とその対策】 おもな救急疾患 心因反応. 小児科診療(0386-9806) 2001;64(11):2038-2043.
  94. 塩田恭子, 山田義治. 隘奇形を誘因として家庭内暴力を引き起こした2症例. 思春期学(0287-637X) 2001;19(1):46.
  95. 奥山真紀子, 宮本信也, 井上登生, 西澤哲, 庄司順一, 塩川宏郷, et al. 家庭内性虐待23例に関する検討. 小児の精神と神経(0559-9040) 2001;41(4):285-286.
  96. 岡田隆介. 【家族臨床の課題 「17歳問題」への理解とアプローチの視点を求めて】 問題をどのように理解するか 「17歳問題」を考える 不登校, ひきこもり, 非行の臨床から. 家族療法研究(0910-6022) 2001;18(3):212-215.
  97. 岡田隆介. 【小児・思春期の精神障害治療ガイドライン】 臨床的注目の対象となりうるその他の状態 児童虐待 児童相談所での援助のあり方. 精神科治療学(0912-1862) 2001;16(増刊):277-280.
  98. 岡本晴美. 児童虐待防止活動報告 CAP 広島連絡会での活動を通して. In: 瀬戸内短期大学紀要(0914-4722); 2001; 2001. p. 51-56.
  99. 下山修司, 堀江義人, 川崎一. 【精神分裂病の初回エピソード】 青年期になって精神分裂病の初回エピソードを呈した学習障害児 発達障害と精神分裂病の接点から. 臨床精神医学(0300-032X) 2001;30(11):1303-1308.
  100. 加藤則子. 【少年犯罪と攻撃性の心理】 母子保健からみた少年犯罪. 思春期学(0287-637X) 2001;19(3):273-277.
  101. 角田由紀子. 【性暴力被害者の支援 看護婦だからできること】 看護に生かす DV・児童虐待防止法. 看護学雑誌(0386-9830) 2001;65(11):1013-1015.
  102. 角野善宏. 全身熱傷を受けた青年の心理療法過程自由画の可能性を考慮して. 心理臨床学研究(0289-1921) 2001;19(5):513-524.
  103. 笠原麻里, 入砂文月, 佐藤至子, 室岡守, 永長美緒, 齊藤万比古. 同胞を負傷させたことをきっかけに被害感と攻撃性をつのらせた高機能広汎性発達障害男児の治療. In: 日本児童青年精神医学会42回総会抄録集; 2001; 2001. p. 42.
  104. 岩田泰子. 児童虐待 児童精神科の臨床から. 精神医学(0488-1281) 2001;43(8):818-830.
  105. 菊池清美, 深井玲華, 菊池義人. ロールシャッハ・テストに見られる性的被害の痕跡. 心理臨床学研究(0289-1921) 2001;18(6):626-632.
  106. 宮本洋. 思春期・青年期の問題行動について いわゆる登校拒否, 自殺, いじめ, 暴力等の関連について. 精神神経学雑誌(0033-2658) 2001;103(11):968.
  107. 宮野祥雄. 精神的自立の過渡期にある若者の親に対する逆ギレ 逆ギレの意味と自分づくり. In: 日本心理学会 65 回大会発表論文集; 2001; 2001. p. 643.
  108. 近藤直司. 【青少年暴力】 精神保健福祉センターが取り組む青少年のメンタルヘルス・ケア 暴力との関連について. 公衆衛生(0368-5187) 2001;65(12):867-870.
  109. 近藤直司. 青年期のひきこもりについて. 精神神経学雑誌(0033-2658) 2001;103(7):556-565.
  110. 金井剛, 高田美和子, 南達哉, 高橋雄一, 菅野美紀, 執印孝子, et al. 横浜市立大学医学部附属病院小児精神神経科における外来統計. In: 神奈川県精神医学会誌(0288-9617); 2001; 2001. p. 63-71.
  111. 金子高太郎. 事件発生! どう対処する? バスジャック事件. エマージェンシー・ナーシング(0915-4213) 2001;14(6):521-526.
  112. 栗林理人, 村上智江, 川村直子, 田村芳子, 武田哲, 扇谷一朗, et al. 家庭内暴力を伴う不登校男子例の治療 強制的な入院をめぐる考察. In: 日本児童青年精神医学会42回総会抄録集; 2001; 2001. p. 76.
  113. 栗林理人, 渡辺春子, 田村芳子, 武田哲, 兼子直. 激しい行動化を呈した思春期女子症例の治療過程 思春期の攻撃性とそれを抱える治療環境. 精神神経学雑誌(0033-2658) 2001;103(9):721.
  114. 栗林理人, 武田哲. 【ほんとうに困った症例集 精神科編】 家族をめぐる 同胞からの暴力を受け続けた, 被虐待事例 家族内力動をめぐる治療の困難さ. こころの臨床ア・ラ・カルト(0288-0512) 2001;20(増刊):125-127.
  115. 後藤雅博. 【家族臨床の課題 「17歳問題」への理解とアプローチの視点を求めて】 問題にどのようにかかわっていくか 17歳 症例から. 家族療法研究(0910-6022) 2001;18(3):223-225.
  116. 香川靖雄. 【少年犯罪と攻撃性の心理】 生活習慣の乱れと非行. 思春期学(0287-637X) 2001;19(3):269-272.
  117. 香川靖雄. 【青少年暴力】 栄養と遺伝子と非行. 公衆衛生(0368-5187) 2001;65(12):860-862.
  118. 高橋神吾. 少年の反社会的行動とサイコパス. 小児科(0037-4121) 2001;42(6):1017-1023.
  119. 高橋神吾. 【心の問題への小児科医の対応】 集団の反社会的行動. 小児科(0037-4121) 2001;42(10):1546-1554.
  120. 高橋徹, 鷲塚伸介, 小池みゆき, 佐久間文子, 今井淳子, 吉松和哉. 行動化型症例に対する円環的家族システムを基にした治療介入の工夫 思春

- 期・青年期の問題行動を中心に、精神療法 (0916-8710) 2001;27(3):285-293.
121. 黒沢幸子, 森俊夫. スクールカウンセリング 家庭内暴力を伴った不登校児への「問題の外在化」アプローチの適用 「問題の外在化」による自我統合プロセス, 及びスクールカウンセリングにおける「問題の外在化」の効用に関する考察. 臨床心理学 (1345-9171) 2001;1(2):217-229.
  122. 佐川真理子, 新宮一成, 横田伸吾, 尾崎孝子. 青年期女子神経症者の自己愛と身体像. 児童青年精神医学とその近接領域 (0289-0968) 2001;42(1):10-21.
  123. 佐竹真次. 小学校普通学級における ADHD と疑われる児童への機能アセスメントによるアプローチ. 山形保健医療研究 (1343-876X) 2001;4:43-50.
  124. 佐野勝徳, 長谷川千寿, 佐野敦子. 【青少年暴力】よく遊びお手伝いもよくしている子はキレにくい. 公衆衛生 (0368-5187) 2001;65(12):863-866.
  125. 斎藤学, HeidenTory. 【家族を再定義する】 少年暴力と家族. アディクションと家族 (1344-4743) 2001;18(1):36-51.
  126. 笹原信一郎, 服部訓典, 松崎一葉. 【少年犯罪と攻撃性の心理】 引きこもりと攻撃性のケア. 思春期学 (0287-637X) 2001;19(3):264-268.
  127. 三砂ちづる. 青少年暴力 アメリカにおける青少年暴力に関する 1999 年 Surgeon General (公衆衛生長官) の報告書から 公衆衛生アプローチの重要性. 公衆衛生 (0368-5187) 2001;65(12):878-883.
  128. 三宅康弘, 武田則昭, 芝本英博, 川田久美, 合田恵子, 江草正彦, et al. 施設入所要介護高齢者と小学校児童の交流会に関する検討. 四国公衆衛生学会雑誌 (0286-2964) 2001;46(1):98-103.
  129. 三池輝久. こども達の生活環境と生きる力. 学校保健研究 (0386-9598) 2001;42(6):459-464.
  130. 三和啓二. 【スクールカウンセリング】 「いじめ」「暴力」を受けた 17 歳の生徒との取り組み 暴力否定を貫いた少年から「暴力の連鎖を断ち切る方法」について学ぶ. 臨床心理学 (1345-9171) 2001;1(2):196-201.
  131. 山上敏子, 大隈紘子, 瀬口康昌, 本村啓介. 【小児・思春期の精神障害治療ガイドライン】 治療法行動療法. 精神科治療学 (0912-1862) 2001;16(増刊):36-44.
  132. 山本悦代, 西澤哲. 身体的虐待を受けた 4 歳女児への入院中の心理的援助 恐怖, 怒り, 絶望の世界. 心理臨床学研究 (0289-1921) 2001;18(6):581-592.
  133. 山縣千鶴子, 吉川悟. 危機介入, その時治療者にできたことは 母親の家出を機に, 暴力がエスカレーションしたひきこもりの一例. 家族療法研究 (0910-6022) 2001;18(1):41.
  134. 寺田浩, 張苗花, 太田大介, 落合雅人, 吉田勝明, 大原浩市. 非行歴のある神経症青少年に対する森田療法の効用. 日本森田療法学会雑誌 (0917-7485) 2001;12(1):1-7.
  135. 小宮山要. 社会小児科学 子どもの薬物乱用. 小児科 (0037-4121) 2001;42(10):1688-1693.
  136. 小崎武. 【不登校 子どものライフストレスと不登校】 不登校とその家族. ストレスと臨床 (1345-0034) 2001;8:18-21.
  137. 小崎武, 吉田潤, 伊藤浩明, 石原尚子, 松下ゆかり, 米田奈保子, et al. 短期療法が有効であった不登校, 家庭内暴力の 13 歳女子例. 心身医学 (0385-0307) 2001;41(5):377.
  138. 小川恵. 「非行」辺縁現象から行為障害を分ける. 臨床精神病理 (0389-3723) 2001;22(1):56.
  139. 小川豊昭. 強迫症者の生育歴における家族の暴君の影響. 思春期青年期精神医学 (0917-3307) 2001;11(1):47-57.
  140. 小泉武宣. 【周産期医学必修知識】 母子保健 児童虐待. 周産期医学 (0386-9881) 2001;31(Suppl.):806-808.
  141. 小島秀悟, 佐藤親次. 【ひきこもる思春期 いかにか考え, いかに向き合うか】 ひきこもりと犯罪行動. こころの臨床ア・ラ・カルト (0288-0512) 2001;20(2):189-192.
  142. 小林聡幸, 西嶋康一, 江原由美子, 大塚公一郎, 加藤敏. Carbamazepine による音高知覚変移. 栃木精神医学 (0287-2242) 2001;21:48-50.
  143. 松田文雄. 【青年期の病態と精神療法】 青少年犯罪や暴力と行為障害. 精神療法 (0916-8710) 2001;27(6):610-620.
  144. 上村浩一, 青野敏博. 【産褥】 母乳哺育の意義. 産婦人科治療 (0558-471X) 2001;82(1):19-23.
  145. 上林靖子. 【小児・思春期の精神障害治療ガイドライン】 注意欠陥及び破壊的行動障害 注意欠陥/多動性障害の治療. 精神科治療学 (0912-1862) 2001;16(増刊):216-221.
  146. 森崇. 【少年犯罪と攻撃性の心理】 キレル 摂食障害を通して考える. 思春期学 (0287-637X) 2001;19(3):260-263.
  147. 菅原ますみ. “子どもがキレル”という現象 発達心理学からのアプローチ. チャイルドヘルス (1344-3151) 2001;4(9):653-657.
  148. 瀬口康昌. 家庭内暴力の長期治療経過 「自分を取り戻せた」と語り, 母親への暴力を止めた一女性例. 精神療法 (0916-8710) 2001;27(5):524-532.
  149. 成田奈緒子, 田副真美, 成田正明, 村上信行, 作田亮一, 岡戸信男, et al. 小児神経疾患における選択的セロトニン再取り込み阻害剤 (SSRI) の使用経験 (第二報) 「キレル子」予備軍-思春前期の情動行動の変化に対する SSRI 投与の効果脳と発達 (0029-0831) 2001;33(Suppl.):S206.
  150. 星野仁彦. 攻撃性・暴力行為の著しい ADHD 児に対する methylphenidate と fluvoxamine 併用療法の試み. In: 日本児童青年精神医学会 42 回総会抄録集; 2001; 2001. p. 85.
  151. 西園昌久. 最近の少年事件を考える 我が国社会

- の近代化の矛盾. 精神療法 (0916-8710) 2001;27(2):184-188.
152. 西岡直也. 人格障害を合併し対応が困難であった孔脳症の一例. In: 神奈川県精神医学会誌 (0288-9617); 2001; 2001. p. 43-49.
153. 西貝恵子, 山本美佐子. キレル子への対応を考える. In: 東京都衛生局学会誌 (0287-4652); 2001; 2001. p. 370-371.
154. 西松能子. 青少年の非社会的行動 その病理と背景 20 歳以下の精神科受診患者における非社会的行動及び反社会的行動. 犯罪学雑誌 (0302-0029) 2001;67(3):108-114.
155. 青木省三, 黒木俊秀. 【児童・青年期の心の支援を考える】 社会との接点を持つ「機会」や「場」, そして「相談」やカウンセリング 不登校, ひきこもり, 家庭内暴力の「援助」をめぐって. 保健の科学 (0018-3342) 2001;43(12):911-915.
156. 石川丹. 動きの多い幼児への対応. 臨床小児医学 (0035-550X) 2001;49(3-4):55-59.
157. 仙谷真弓, 山崎勝之. 児童の外的統制性と抑うつに介在する攻撃性の影響 共分散構造分析による因果モデルの検討. In: 日本心理学会 65 回大会発表論文集; 2001; 2001. p. 1068.
158. 扇子幸一. 家族との連携のとり方 高校生の場合遅れてきたギャングエージと変わった子の辛さ 教育困難高校でのスクールカウンセラーの経験から. 児童青年精神医学とその近接領域 (0289-0968) 2001;42(5):392-398.
159. 太田順一郎, 大西勝, 塚本千秋, 本田輝行, 河原宏子. 「家庭内暴力を伴う引きこもり事例」への援助について. In: 日本児童青年精神医学会 42 回総会抄録集; 2001; 2001. p. 75.
160. 大河原美以. 【家族臨床の課題 「17 歳問題」への理解とアプローチの視点を求めて】 問題をどのように理解するか 「心的外傷」と問題増幅のプロセス. 家族療法研究 (0910-6022) 2001;18(3):206-211.
161. 大山建司, 渡邊タミ子, 村松愛子, 茂手木明美. 小児の対人関係の歪みに関する研究 小児慢性疾患児の母子依存関係を中心に. In: 成長科学協会研究年報 (0386-7617); 2001; 2001. p. 107-118.
162. 大森寛, 岩本泰行, 米澤治文, 西山聡, 世木田久美, 大田垣洋子. 自傷行為により高度貧血をきたした multi-impulsive bulimia の 1 例. 広島県立病院医誌 (0387-6454) 2001;33(1):85-88.
163. 竹内光夫, 志村実夫, 萩原直樹. 不登校事例 人生をどのように生きていくかという助走を援助すること. 家族療法研究 (0910-6022) 2001;18(1):73.
164. 中久喜雅文. 臨床における父親像 患者が体験した「不在の父親」とセラピストに求めた父親像. 思春期青年期精神医学 (0917-3307) 2001;11(1):2-7.
165. 中村延江. 小児の心身症 その実態と小児科医の役割 思春期の心の問題とセルフイメージ. 日本小児科学会雑誌 (0001-6543) 2001;105(12):1340-1347.
166. 中村俊郎, 森健太, 西徹. 【小児内分泌学の進歩 2001】 精神症状を伴った成長ホルモン分泌性下垂体腺腫の男児例. ホルモンと臨床 (0045-7167) 2001;49(12):1201-1205.
167. 中島幸良, 古庄経吉, 野田文子, 連理貴司, 山下夕美子. 薬物依存と家庭内暴力の思春期患者の看護 様々な出会いと別れ, そして成長. In: 精神保健 (0912-6589); 2001; 2001. p. 33.
168. 仲本晴男. 【精神分裂病の初回エピソード】 分裂病性初回エピソードの発症様式と早期介入. 臨床精神医学 (0300-032X) 2001;30(11):1341-1348.
169. 塚本千恵美. ライフライン 親子の絆. エマージェンシー・ナーシング (0915-4213) 2001;14(11):1070-1073.
170. 田畑裕子, 塩川睦子, 鉦之原昌. 母親の子育てにおける楽しさ, キレル感情, 疲れの要因に関する研究. 小児保健研究 (0037-4113) 2001;60(2):253.
171. 渡辺久子. 【心の問題への小児科医の対応】 家庭内暴力. 小児科 (0037-4121) 2001;42(10):1519-1528.
172. 土井徹. 【少年犯罪と攻撃性の心理】 県別にみた少年犯罪 (14-19 歳) 検挙人員の対人口割合. 思春期学 (0287-637X) 2001;19(3):248-259.
173. 藤岡淳子. 青少年の非社会的行動 その病理と背景 激しい暴力を暴発させた少年の自他表象 事例の心理テスト結果から. 犯罪学雑誌 (0302-0029) 2001;67(3):104-108.
174. 藤枝静暁, 相川充小学校における学級単位の社会的スキル訓練の効果に関する実験的検討. 教育心理学研究 2001;4(3):371-381.
175. 藤川貞敏, 加來昌子, 小川厚. 虐待する親への穏やかな介入. In: 日本小児精神神経学会 86 回プログラム・抄録集; 2001; 2001. p. 24.
176. 得津慎子. 相談の「場」で相談者が語ることと援助者の役割 家庭内暴力の少年の事例から. 家族療法研究 (0910-6022) 2001;18(1):42.
177. 二宮恒夫. DV 目撃による心的外傷例の治療困難の要因. In: 日本小児心身医学会 19 回プログラム・抄録集; 2001; 2001. p. 68.
178. 二宮恒夫, 黒田泰弘. ドメスティックバイオレンス (DV) 目撃による心的外傷の 3 例. 日本小児科学会雑誌 (0001-6543) 2001;105(3):316.
179. 板倉裕子. 小児看護 急激な変化の中で生きる子どもへの支援を考える 保健婦の立場から. 看護 (0022-8362) 2001;53(4):200-202.
180. 樋口恵美, 金子美香, 長井孝二郎, 浦部大策. 【被虐待児の現状と対応】 外来・救急医療における虐待児の診断. 小児科 (0037-4121) 2001;42(3):297-305.
181. 武田哲. 同胞から激しい暴力を受け続けた被虐待児の治療過程. 児童青年精神医学とその近接領域 (0289-0968) 2001;42(2):145-146.

182. 武藤真理子, 多田幸司, 渡邊芽里, 笠茂公弘, 飯島毅, 竹中秀夫, et al. Fluvoxamineにより精神病像を伴う躁状態を呈した強迫性障害の1症例. 精神医学(0488-1281) 2001;43(1):65-68.
183. 服部功, 東孝博. 措置入院適用に問題を残した2例. 精神科治療学(0912-1862) 2001;16(6):589-594.
184. 米山奈奈子. ドメスティック・バイオレンスと看護支援 看護介入. In: 精神科看護(0910-5794); 2001; 2001. p. 68-71.
185. 米山奈奈子. ドメスティック・バイオレンスと看護支援 暴力のない社会をめざして. In: 精神科看護(0910-5794); 2001; 2001. p. 64-68.
186. 峰友紗. 現代の高校生の使う「キレル」に関する研究 フォーカスグループディスカッションを用いて. 公衆衛生研究(0916-6823) 2001;50(4):274.
187. 豊田美穂子, 若浦さおり, 本吉恵子, 小平雅基. 衝動性の高い児童との関わり ADHD児の事例から. 医療(0021-1699) 2001;55(増刊1):70.
188. 堀口寿広, 加我牧子. 母親による乳児の表情認知について 日本版 I FEEL Pictures テストの活用. チャイルドヘルス(1344-3151) 2001;4(10):780-783.
189. 木村好秀, 齋藤益子. 高校での喫煙・飲酒・暴力の現状とそれらに対する学校の対応 都内公立高校の調査から. 思春期学(0287-637X) 2001;19(3):290-296.
190. 野口恭子. ピックアップナーシングビュー 知っていますか? 医療者の暴力 子どもへの虐待. 看護技術(0449-752X) 2001;47(3):98-101.
191. 野村俊明. 突発的に暴力犯罪を行ったアスペルガー障害と考えられる一例 少年非行と発達障害の関連について. 犯罪学雑誌(0302-0029) 2001;67(2):56-62.
192. 野田陽子, 宮内和瑞子, 幸田文一. 家庭内暴力の実態について 過去9年間の思春期相談から. 精神神経学雑誌(0033-2658) 2001;103(4):370.
193. 登田貴子, 友田尋子, 坂なつこ, 玉上麻美. DV(ドメスティック・バイオレンス)被害の実態と子どもへの影響に関する調査研究 DV被害者とその子どもへの暴力内容と心身への影響. 大阪市立大学看護短期大学部紀要(1344-7688) 2001;3:27-35.
194. 輪湖史子. ICNの暴力対策 「2001年国際看護婦の日」資料解説. 看護(0022-8362) 2001;53(9):68-69.
195. 鈴木俊介. 家庭内に限局する暴力行為 学童病棟の入院患者を対象として. In: 日本児童青年精神医学会42回総会抄録集; 2001; 2001. p. 74.
196. 和久津里行, 牛島定信. アルコール乱用後に発症した摂食障害患者の罪悪感をめぐって. 社会精神医学研究所紀要(0285-1741) 2001;29(1):10-15.
197. 簗下成子, 森田展彰, 佐藤親次. 高校生における怒りの表出と表情認知の関係 能面を用いた表情認知テストと状態・特性怒り表出尺度(STAXI)の関係. 日本社会精神医学会雑誌(0919-1372) 2001;10(1):109.
198. オリバー・フォークス. 【家族と暴力 介入と治療】米国における犯罪犠牲者の権利と現状. アディクションと家族(1344-4743) 2000;17(1):28-34.
199. メアリー・R・ハーウ・イー, パトリシア・A・ハーニー. 【家族と暴力 介入と治療】児童期に性的虐待を受けた女性の治療 個人精神療法. アディクションと家族(1344-4743) 2000;17(1):35-50.
200. 井上久美代. ドメスティック・バイオレンス (Part-1). 看護技術(0449-752X) 2000;46(13):1454-1461.
201. 井上久美代. ドメスティック・バイオレンス (Part-2). 看護技術(0449-752X) 2000;46(15):1681-1687.
202. 井上洋一, 水田一郎, 福永知子, 佐藤寛, 小笠原將之. アパシー症例における攻撃性の意味 回避された攻撃性に内包される発達促進の意味. 臨床精神病理(0389-3723) 2000;21(1):101-102.
203. 影山任佐. 【社会的価値観の変動と臨床的諸問題】現代日本の犯罪と現代社会:「自己確認型」犯罪. 精神科治療学(0912-1862) 2000;15(12):1257-1263.
204. 影山任佐. 都市の社会病理と精神医学 現代青少年の攻撃性と社会病理. 日本社会精神医学会雑誌(0919-1372) 2000;9(1):75-83.
205. 榎戸美佐子, 北本福美. 摂食障害と家庭内トラウマについて. 児童青年精神医学とその近接領域(0289-0968) 2000;41(2):143-144.
206. 奥山真紀子. 【注意欠陥 多動性障害と行為障害】不適切な養育(虐待)と行動障害. 小児の精神と神経(0559-9040) 2000;40(4):279-285.
207. 下山修司. 【意識障害とその周辺 症例を中心に】インフルエンザウイルス脳症による意識障害後にADHD様症状を呈した1児童例. 臨床精神医学(0300-032X) 2000;29(11):1503-1509.
208. 河野千佳, 島崎晴代, 永倉俊和, 赤塚順一. 家庭・学校内暴力を引き起こした3症例. 思春期学(0287-637X) 2000;18(1):37.
209. 岩田泰子. 都市の社会病理と精神医学 児童虐待と家庭内の暴内. 日本社会精神医学会雑誌(0919-1372) 2000;9(1):71-74.
210. 吉川悟. 家庭内暴力へのオーソドックスな家族療法 圧倒的権威者としての子どもに父親を立ち向かわせること. 思春期青年期精神医学(0917-3307) 2000;10(2):188.
211. 吉田友子, 内山登紀夫, 藤岡宏, 塩田玲子, 桑原蘭子, 黒田喜美子, et al. 広汎性発達障害における「注意障害」「多動」「衝動性」PDDとADHDの併記を否定する国際的診断基準の妥当性. In: 日本児童青年精神医学会41回総会抄録集; 2000; 2000. p. 175.
212. 宮本信也. 【小児の精神疾患】注意欠陥・多動障害. 小児科診療(0386-9806) 2000;63(10):1521-1527.

213. 牛島定信. 【社会的価値観の変動と臨床的諸問題】対象関係論からみた新たな精神障害と境界喪失. 精神科治療学(0912-1862) 2000;15(11):1137-1143.
214. 響徹, 大西祥子, 吉川憲人, 太田耕平, 山下謙二. カルバマゼピンが著効した不登校, 学習障害を伴った家庭内暴力の1例. 精神神経学雑誌(0033-2658) 2000;102(4):413.
215. 栗林理人, 佐々木芳子, 川村直子, 武田哲, 扇谷一郎. 家庭内暴力(同胞間)の治療過程 暴力を振われた側を含めた治療. 児童青年精神医学とその近接領域(0289-0968) 2000;41(2):181-182.
216. 古賀勝彦. 医療と教育の連携 兄弟への暴力や学校での逸脱行動をくり返す男子中学生 教育の現場から. こども医療センター医学誌(0301-2654) 2000;29(1):45-47.
217. 幸田有史. 暴行事件の被害児とその母親への支援例 PTSD 治療に関わる支援の方策. In: 日本児童青年精神医学会 41 回総会抄録集; 2000; 2000. p. 37.
218. 康智善, 伊藤良子. セラピストに贖罪を迫る人格障害の青年の事例. 精神療法(0916-8710) 2000;26(6):613-621.
219. 佐藤晋爾, 水上勝義, 山口直美, 石川正憲, 大野榎江, 鈴木利人, et al. 摂食障害を合併した Asperger 障害の1例. 精神医学(0488-1281) 2000;42(9):963-968.
220. 佐藤由美子, 塩飽仁. 神経症の患児における攻撃性, 一般的主観的統制感の変化からみた看護介入技法としてのビデオゲーム使用の検討. 日本小児看護学会誌(1344-9923) 2000;9(1):84-85.
221. 砂川真澄. 【子どもの虐待 その現状と対応】民間による子ども虐待防止活動の役割 CAP プログラム活動を通して. 熊本医学会雑誌(0300-919X) 2000;73(2-3):183-187.
222. 坂井明子, 山崎勝之, 曾我祥子, 大芦治, 島井哲志, 大竹恵子. 小学生用攻撃性質問紙の作成と信頼性, 妥当性の検討. 学校保健研究(0386-9598) 2000;42(5):423-433.
223. 坂上香. 【性暴力と DV 加害者治療の可能性を探る】「加害者」の「被害者」性を受け止める試み 治療共同体アミティのアプローチから. アディクションと家族(1344-4743) 2000;17(3):271-279.
224. 阪幸江, 吉川悟. 家庭内暴力を呈していた1症例への家族療法 主訴に隠されていた家庭内暴力. 児童青年精神医学とその近接領域(0289-0968) 2000;41(2):180-181.
225. 崎山忍, 飯田順三, 南良武, 岸本年史. 社会復帰施設利用をはじめ, 多面的対応が奏効した不登校・家庭内暴力の1例. 日本社会精神医学会雑誌(0919-1372) 2000;9(1):100.
226. 山下仰, 武田雅俊. 急性一過性に多動・衝動性及び問題行動が増悪した注意欠陥多動障害の2症例. 児童青年精神医学とその近接領域(0289-0968) 2000;41(2):206-207.
227. 斯波憲子. 家庭内暴力 児童虐待. In: 北海道医報(0913-0217); 2000; 2000. p. 26-27.
228. 汐田まどか, 小枝達也. 発達行動小児科学からみた学校不適応の検討(第2報) 「キレル」小児例の検討. 日本小児科学会雑誌(0001-6543) 2000;104(2):238.
229. 勝間政男, 長浜徹, 高橋典子, 小松三津子, 宇野和恵, 三神俊也, et al. コミュニティ・ワークによる家族関係への関与 家庭内暴力による入所事例の検討を通じた施設の社会化への視点. 東京都老年学会誌(1344-1175) 2000;6:212-214.
230. 小西聖子. 外傷ストレス関連障害の病態と治療ガイドラインに関する研究 東京都の女性における性暴力被害とそのトラウマ 成人期, 児童期における性暴力被害体験と IES-R, GHQ12 の関連. In: 厚生省精神・神経疾患研究委託費による 11 年度研究報告集; 2000; 2000. p. 141.
231. 小西聖子, 石井朝子. 【今日の精神科治療 2000】疾患 神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害 解離性障害の治療 対人暴力からもたらされる解離のコントロールについて. In: 臨床精神医学(0300-032X); 2000; 2000. p. 54-59.
232. 庄司順一. 【虐待をめぐる】 家庭内暴力の現状と課題 子ども虐待. In: 母子保健情報(0389-8997); 2000; 2000. p. 8-22.
233. 上島有美子, 平山崇, 郷久絵里香, 丸山陽子, 小林愛子, 伊藤さゆり, et al. 家族個々の内観療法とその後の家族療法の経験(I) 次男の内観効果に焦点を当てて. 児童青年精神医学とその近接領域(0289-0968) 2000;41(2):178.
234. 上野ミユキ, 佐々木法広, 西川幸代, 斉藤述史, 後久清子, 大西祥子, et al. 家族個々の内観療法とその後の家族療法の経験(111) 夫婦不仲が子どもの問題行動の原因と気づいた父母. 児童青年精神医学とその近接領域(0289-0968) 2000;41(2):179-180.
235. 植木田潤. 攻撃性を巡る間主観的な交流に焦点を当てた教育相談 箱庭を用いて「落ち着きのない児童」を支援した事例. 国立特殊教育総合研究所研究紀要(0387-3528) 2000;27:67-76.
236. 新井卓. 医療と教育の連携 兄弟への暴力や学校での逸脱行動をくり返す男子中学生 医療の現場から. こども医療センター医学誌(0301-2654) 2000;29(1):43-45.
237. 森崇. しつけ・育児と"キレル". 思春期学(0287-637X) 2000;18(1):126-129.
238. 森崇. 問題の子どもを持つ親のメンタルヘルス 青春期内科を通して. In: 心と社会(0023-2807); 2000; 2000. p. 111-116.
239. 森田展彰, 佐藤親次, 小島秀悟, 箕下成子, 小泉義紀, 有園博子. PTSD が衝動的暴力に関与したと考えられる少年犯罪事例について. 犯罪学雑誌(0302-0029) 2000;66(3):120-121.
240. 森茂起, 白川敬子, 鈴木暁子, 利根川雅弘, 戸田みな子, 宮本茂子, et al. 描画グループワークによ

- る心的外傷への治療的関わり 阪神・淡路大震災後の小学校における実践から. 心理臨床学研究 (0289-1921) 2000;18(5):511-522.
241. 神山潤. ライフサイクルと睡眠障害 小児の睡眠を取り巻く諸問題. 精神医学 (0488-1281) 2000;42(12):1309-1316.
242. 神山潤. 子どもの眠り キレル子と睡眠 都教育研のアンケート結果を眺めて. チャイルドヘルス (1344-3151) 2000;3(8):618-619.
243. 杉山登志郎, 辻井正次, 石川道子, 神谷真巳. 暴力的な噴出を繰り返す Asperger 症候群の症例検討. 小児の精神と神経 (0559-9040) 2000;40(4):303-312.
244. 杉本好行. 不登校児への臨床心理的地域援助の実際 家庭内暴力も呈した小 5・男児との取り組み. In: 静岡県精神保健福祉センター所報 (1342-2855); 2000; 2000. p. 29-34.
245. 斉藤和恵, 清水英佑, 吉川ゆき子, 衛藤義勝. 低身長児の学齢期における心理社会的特性について. 子どもの心とからだ (0918-5526) 2000;9(2):116-122.
246. 石井敏明. 子どもの「反抗」と痴呆性老人の「攻撃性」. In: 日本医事新報 (0385-9215); 2000; 2000. p. 39-42.
247. 川口尚子, 松山雅, 宮脇大, 上田久仁子, 切池信夫, 小波蔵かおる, et al. 思春期・青年期の攻撃性に対するリスベリドンの有用性について. In: 日本児童青年精神医学会 41 回総会抄録集; 2000; 2000. p. 204.
248. 川谷大治. 【今日の精神科治療 2000】 精神科疾患の愁訴と治療 家庭内暴力. In: 臨床精神医学 (0300-032X); 2000; 2000. p. 546-550.
249. 早瀬環, 山本啓一, 山本淑子, 福井有公. 逸脱行動を示した青少年の剖検例の最近の傾向. 犯罪学雑誌 (0302-0029) 2000;66(3):126-127.
250. 村上雅彦, 藤田仁志. 家族機能活性のための外部援助の活用. 家族療法研究 (0910-6022) 2000;17(1):45.
251. 太田耕平, 上野ミユキ, 小林愛子, 根本忠典, 千葉信行, 平山崇, et al. 家族全員の個人集中内観療法と内観家族療法の併用 長男・次男の不登校・暴力・肥満を中心とした家族病理に視点をあてて. 精神神経学雑誌 (0033-2658) 2000;102(6):580.
252. 太田珠実, 鈴木京子, 石渡京子. 家庭内暴力児 3 症例から患者理解を振り返る 患者理解における看護者とチームのありかた. 神奈川県立こども医療センター看護研究集録 (0913-6657) 2000;24:1-4.
253. 大隈紘子, 魚住成彦, 陣内咲子. 精神科入院治療が有効であった高機能自閉症青年の 1 症例. 児童青年精神医学とその近接領域 (0289-0968) 2000;41(2):113-114.
254. 大石興, 小山佳紀. いつもイライラし、ムカツクと訴える子への対応 小学 5 年男児例. 子どもの心とからだ (0918-5526) 2000;9(1):81.
255. 池上将永. 注意欠陥多動性障害の動物モデルに関する研究動向. 旭川医科大学研究フォーラム (1346-0102) 2000;1:48-59.
256. 中島直. 茨城県立友部病院における思春期精神科医療の現状と課題. 茨城県立病院医学雑誌 (0912-9952) 2000;18(2):59-65.
257. 長尾百合子, 横山泉, 長尾充【社会の変化と性の問題 その実態と対策を求めて】 女性に対する性暴力を考える 被害者(サバイバー)への支援を中心に 少年非行と性暴力 子供の虐待, 特に性的虐待を中心に. 産婦人科の世界 (0386-9873) 2000;52(2):207-211.
258. 長濱輝代, 竹山佳江, 徳明雅恵, 水上典子, 吉田熙延, 杉村省吾, et al. 本院における思春期不登校児へのアプローチ 強い攻撃性を呈した男児例を中心に. 子どもの心とからだ (0918-5526) 2000;9(1):76-77.
259. 辻洋子, 西尾元, 宮崎時子, 松井清司, 鈴木広一. 過去 5 年間の司法解剖例における家庭内暴力. 日本法医学雑誌 (0047-1887) 2000;54(3):476-477.
260. 田中賢司, 石渡恵, 山崎透, 森則夫. 成人病棟における児童の入院治療について 家庭内暴力の入院治療経験を通して. 精神神経学雑誌 (0033-2658) 2000;102(11):1188-1189.
261. 田中賢司, 石渡恵, 山崎透, 森則夫. 不登校後家庭内暴力を呈した小 6 男児の入院治療 成人病棟での工夫と限界について. In: 日本児童青年精神医学会 41 回総会抄録集; 2000; 2000. p. 130.
262. 湯川進太郎, 遠藤公久, 吉田富二雄. 暴力映像が攻撃行動に及ぼす影響: 挑発による怒り喚起の効果を中心として. 心理学研究 2000;72(1):1-9.
263. 内藤和美. ケアと暴力-家族内におけるそれを中心に. 群馬パース看護短期大学紀要 (1344-6568) 2000;2(2):59-62.
264. 鍋田恭孝. 臨床における心理的アプローチ どのように見立てどのような働きかけをするのか? 診断の手順について (その 3). 治療 (0022-5207) 2000;82(9):2426-2432.
265. 二宮恒夫, 谷洋江. ドメスティック・バイオレンスと、その子どもへの影響. 日本小児科学会雑誌 (0001-6543) 2000;104(12):1224.
266. 白石裕子, 舟越和代, 中添和代. 3 歳児を持つ母親の欲求不満場面における言語的特徴 育児に関する意識調査質問紙と PF スタディを用いて. In: 日本看護科学学会学術集会講演集; 2000; 2000. p. 309.
267. 飯山道郎, 齋藤万比古, 星加明徳. 家庭内暴力のため受診となった注意欠陥/多動性障害 (ADHD) の 1 例. 小児の精神と神経 (0559-9040) 2000;40(3):217.
268. 武田哲. 同胞から激しい暴力を受け続けた, 被虐待例の治療過程. In: 日本児童青年精神医学会 41 回総会抄録集; 2000; 2000. p. 40.
269. 武田敏. 脳と情動のライフ・スキル. 思春期学

- (0287-637X) 2000;18(1):130-135.
270. 平岩幹男, 久保田千鶴. キレル子供たちの現状と背景. 日本小児科学会雑誌 (0001-6543) 2000;104(2):168.
  271. 平山崇, 上島有美子, 大西祥子, 齊藤述史, 佐々木法広, 太田耕平. 家族個々の内観療法とその後の家族療法の経験(II) 家庭内暴力・不登校の長男について. 児童青年精神医学とその近接領域 (0289-0968) 2000;41(2):178-179.
  272. 米山奈奈子. ドメスティック・バイオレンスと看護支援 アディクションと暴力. In: 精神科看護 (0910-5794); 2000; 2000. p. 69-71.
  273. 米山奈奈子. ドメスティック・バイオレンスと看護支援 ドメスティック・バイオレンスとは何か. In: 精神科看護(0910-5794); 2000; 2000. p. 67-69.
  274. 米山奈奈子. ドメスティック・バイオレンスと看護支援 バタード・ウーマンの子どもたち. In: 精神科看護(0910-5794); 2000; 2000. p. 59-61.
  275. 米山奈奈子. ドメスティック・バイオレンスと看護支援 バタラーの心理. In: 精神科看護 (0910-5794); 2000; 2000. p. 70-73.
  276. 米山奈奈子. ドメスティック・バイオレンスと看護支援 暴力の及ぼす影響と結果 In: 精神科看護 (0910-5794); 2000; 2000. p. 66-69.
  277. 米田英司. 思春期病棟における看護士の役割を考える 家庭内外で精神的外傷を体験した解離性障害児との関わりを通して. 日本精神科看護学会誌 2000;43(1):187-189.
  278. 北山秋雄. 【虐待をめぐって】 性的搾取の実態と被害児童への対応. In: 母子保健情報(0389-8997); 2000; 2000. p. 69-73.
  279. 牧田浩一, 阪武彦, 田中雄三. 中学生の「むかつき」「キレル」に関する意識調査. 精神神経学雑誌 (0033-2658) 2000;102(8):743.
  280. 牧田浩一, 阪武彦, 田中雄三. 中学生の「むかつき」「キレル」現象に関する意識調査. 九州神経精神医学(0023-6144) 2000;46(3-4):189-195.
  281. 妹尾栄一. 【社会的価値観の変動と臨床的諸問題】 少年非行の変化. 精神科治療学 (0912-1862) 2000;15(12):1265-1272.
  282. 末岡浩, 吉村泰典. 【虐待をめぐって】 第一線レポート 早期発見・早期対応に向けて 産科医. In: 母子保健情報 (0389-8997); 2000; 2000. p. 109-112.
  283. 鈴木龍. 私たちのなかの思春期青年期心性. 思春期青年期精神医学 (0917-3307) 2000;10(2):115-123.
  284. 廣山祐治, 児島明子, 岡野高明, 丹羽真一. 中学生の反社会的行為障害に対する診断と治療. 福島県農村医学会雑誌(0911-9426) 2000;42(1):45-46.
  285. 齊藤万比古. 不登校の病院内学級中学校卒業後 10年間の追跡研究. 児童青年精神医学とその近接領域(0289-0968) 2000;41(4):377-399.
  286. 坂元章. 特別企画 テレビゲームは子どもの心にどう影響するか(3)-テレビゲームは社会的不適応を招くか. 児童心理 1999.3;53(4(通号711)):399-406.
  287. 坂元章. 特別企画 テレビゲームは子どもの心にどう影響するか(2)-テレビゲームは暴力性を高めるか. 児童心理 1999.2;53(2(通号709)):249-256.
  288. 坂元章. 特別企画 テレビゲームは子どもの心にどう影響するか(1)-テレビゲームをめぐる社会現象. 児童心理 1999.1;53(1(通号708)):112-120.
  289. Hori A, Takada H, Inoue M, Wakabayashi S, Iwata H. 子どもの抑うつに関連する家族要因についての調査研究. 岐阜大学医学部紀要 (0072-4521) 1999;47(6):228-239.
  290. 芦沢健. いわゆるアダルト・チルドレンに一部森田療法的に関わった1症例. 森田療法学会雑誌 (0917-7485) 1999;10(2):147-155.
  291. 芦野由利子. 【思春期の性を考える グローバルの視点から】 カイロ会議と思春期のリプロダクティブ・ヘルス/ライツ. 思春期学 (0287-637X) 1999;17(3):302-307.
  292. 稲垣由子. Domestic Violence 家庭で養育された子どもの臨床症状. 小児の精神と神経 (0559-9040) 1999;39(4):324.
  293. 永田利彦, 切池信夫, 池谷俊哉, 河原田洋次郎, 田中秀樹, 山上榮. 摂食障害患者における身体的, 性的虐待 衝動性, 解離症状との関連について. 精神神経学雑誌(0033-2658) 1999;101(10):848-849.
  294. 岡田隆介. 【家庭内における暴力を臨床の中でどう扱うか】 親から子どもへの暴力(児童虐待). 家族療法研究(0910-6022) 1999;16(2):73-75.
  295. 岡本百合, 西村良二. 抜毛症に対する遊戯療法 母子関係を中心とした考察. 児童青年精神医学とその近接領域(0289-0968) 1999;40(3):267-276.
  296. 下坂幸三. 【家庭内における暴力を臨床の中でどう扱うか】 「家庭内暴力」に対する応急の対応について. 家族療法研究 (0910-6022) 1999;16(2):63-67.
  297. 下坂幸三. 【変容する社会と精神療法】 社会変容と心理療法. 精神療法 (0916-8710) 1999;25(5):399-408.
  298. 岸下真弓, 吉川紀子, 上田代恵子. 恐怖体験のある分裂病患者の看護 父親の暴力と衝撃的な体験をした患者の看護. 日本精神科看護学会誌 1999;42(1):494-496.
  299. 亀口憲治. 現代の家族と小児保健. 小児保健研究 (0037-4113) 1999;58(4):439-444.
  300. 吉田恵子, 木下敏子, 堤節子, 長谷川伸江, 吉川ゆき子, 中野葉子, et al. 父親が治療者に激しい怒りをぶつけるほど食べ吐きを繰り返した思春期女子の1症例. 子どもの心とからだ(0918-5526) 1999;8(1):46.
  301. 久保千春, 野崎剛弘. 周産期ストレスの青年期における生体調節系に及ぼす影響. In: 厚生省精神・

- 神経疾患研究10年度研究報告書 青年期を中心とした心身症の病態の解明とその治療法に関する研究; 1999; 1999. p. 61-65.
302. 宮本洋. 「暴力回避法」によって好結果を得た家庭内暴力の1例. 精神医学(0488-1281) 1999;41(5):525-527.
303. 金澤忠博, 清水聡, 糸魚川直祐, 南徹弘, 藤村正哲. 【超低出生体重児の予後】 超低出生体重児の精神運動発達. 周産期医学(0386-9881) 1999;29(8):1017-1023.
304. 桑原達郎, 重村淳, 横山章光, 上村秀樹, 針原康, 福西勇夫, et al. 生体部分肝移植後に精神分裂病様症状を生じた1症例. 総合病院精神医学(0915-5872) 1999;11(2):161-167.
305. 高橋規子. 父親からの継続的な暴力により抑うつ状態となった青年とのナラティブ・セラピー 「疾患」と「病い」の二分法を手がかりに. 思春期青年期精神医学(0917-3307) 1999;9(2):202-203.
306. 高橋雄一, 新井卓, 清家洋二, 岩田泰子, 田野稔郎. 神奈川県立こども医療センター精神科入院患者における学校教育の適応状況. In: 神奈川県精神医学会誌(0288-9617); 1999; 1999. p. 51-57.
307. 今井佳子. 「抱っこ」と言い続ける境界例M子と家族への働きかけ. 家族療法研究(0910-6022) 1999;16(1):46.
308. 三橋順子. 【被虐待女性シンドローム-レイプ・DV・セクハラ・児童期性虐待】 親の子どもへの性暴力. アクションと家族(1344-4743) 1999;16(3):316-322.
309. 山下洋. 森田療法と現代青年の精神病理 思春期の家庭内暴力と森田療法. 森田療法学会雑誌(0917-7485) 1999;10(1):65-69.
310. 山崎晃資. 【ストレス社会とこころの病い】 子どものこころと異常行動 不登校, いじめ, 暴力, 非行, 薬物汚染. In: 健康と環境; 1999; 1999. p. 68-77.
311. 山崎勝之. 学校クラス集団における攻撃性低減への総合的教育プログラム--プログラムの理念と攻撃性の発達・顕在化に関する基礎研究. 鳴門教育大学研究紀要 1999(通号 14):29-41.
312. 若林実. 不登校児とその親に対するカウンセリングのポイント. In: 日本小児科医会会報(0912-1781); 1999; 1999. p. 109-112.
313. 小西聖子. 精神医学 心的外傷後ストレス障害(PTSD)をめぐる性暴力被害者における PTSD. In: 日本医学会総会 25 回会誌(0285-6131); 1999; 1999. p. 489.
314. 上原立人. 【心の危険信号をキャッチする】 家庭内暴力と引きこもりに対する危機介入の試み. ヘルスカウンセリング 1999;2(3):37-43.
315. 上別府圭子. 【リエゾン】 子どもの死をめぐる心のケア 精神力動的コンサルテーション・リエゾンの試み. 小児の精神と神経(0559-9040) 1999;39(4):276-286.
316. 上野豪志, 古山佳子, 平井清. 児童虐待行為の背後にある不安に着目した薬物療法(その1). 東京精神医学会誌(0918-970X) 1999;17(1):24-29.
317. 新井卓, 高橋雄一, 清家洋二, 岩田泰子, 田野稔郎. 家庭内暴力を主症状に入院した症例について. 神奈川医学会雑誌(0285-0680) 1999;26(1):162.
318. 新井卓, 高橋雄一, 清家洋二, 岩田泰子, 田野稔郎. 被害関係念慮を伴う Tourette 症候群が疑われた女児例. In: 神奈川県精神医学会誌(0288-9617); 1999; 1999. p. 76.
319. 森さち子. 自閉的な子どもとの治療的かわり(その3) ひきこもりからの脱出. 精神分析研究(0582-4443) 1999;43(2):138-150.
320. 森山光則, 田川安浩, 田川雅浩, 前田和明, 北村直巳. 思春期患者とその家族への関わり 病棟看護者の役割について. In: 精神保健(0912-6589); 1999; 1999. p. 111.
321. 杉山登志郎. 発達障害の豊かな世界 二人のトゥレット症候群. In: こころの科学(0912-0734); 1999; 1999. p. 8-15.
322. 清水恵子, 水上創, 上園崇, 福島亨, 佐々木雅弘, 塩野寛. いじめによる暴力が死因と疑われた中学生の急死. 日本法医学雑誌(0047-1887) 1999;53(1):151.
323. 石川かよ子, 三好紀代美, 眞鍋佳津子, 竹内久美子, 馬淵比佐美, 関結花, et al. 不登校・引きこもりに対する支援のあり方 地域における保健所の役割. 地域環境保健福祉研究(1343-9286) 1999;3(1):93-95.
324. 石川由香, 相川幸子, 小笠原富子, 飯塚若子, 若林美香子, 新井チカ, et al. 家庭内暴力を呈した患者への精神的アプローチ. In: 善仁会研究年報(0916-8826); 1999; 1999. p. 65-66.
325. 川谷大治. 【治療抵抗性の精神障害とその対応】 重症強迫神経症と治療 引きこもり, 治療意欲の乏しい例や家庭内暴力を伴う例への対応. 精神医学(0488-1281) 1999;41(6):613-617.
326. 大原美知子, 妹尾栄一. 子供の暴力 教護院(児童自立支援施設)入所者調査の解析から. In: 東京都衛生局学会誌(0287-4652); 1999; 1999. p. 258-259.
327. 谷山純子, 西村良二. 抜毛症と不登校を呈した8歳男児に対する箱庭を使った遊戯療法. 児童青年精神医学とその近接領域(0289-0968) 1999;40(3):277-285.
328. 中嶋靖潤, 稲田浩, 一色玄, 南野悟, 藤田敬之助. 思春期発来異常の発症又は治療経過において性行動の変容及び粗暴な行動が認められた2症例. Pharma Medica(0289-5803) 1999;17(3):207.
329. 猪股丈二. 【行為障害】 行為障害の薬物療法. 精神科治療学(0912-1862) 1999;14(2):169-174.
330. 塚原達也, 角徳文, 笠原洋勇, 牛島定信. 【人格障害をめぐる諸問題 症例を中心に】 患者に代わって母親が自殺してしまった境界性人格障害. 臨床精神医学(0300-032X) 1999;28(11):1427-1434.

331. 堤啓青年にみられる解離 自己存在をめぐる情緒発達 青年にみられる解離 自己存在をめぐる情緒発達. 思春期青年期精神医学 (0917-3307) 1999;9(1):2-11.
332. 渡部京太, 生地新, 林博史, 村田亜美, 中谷真理子. 【人格障害をめぐる諸問題 症例を中心に】境界性人格障害の治療における適切なマネジメントについて. 臨床精神医学 (0300-032X) 1999;28(11):1505-1513.
333. 湯川進太郎, 吉田富二雄. 暴力映像が攻撃行動に及ぼす影響:攻撃行動は攻撃的な認知および情動によって媒介されるのか?. 心理学研究 1999;70(2):94-103.
334. 日笠哲, 福田裕恭. 注意欠陥多動性障害5例の検討. In: 厚生連尾道総合病院医報(0919-5610); 1999; 1999. p. 50-53.
335. 波田あい子. ドメスティックバイオレンス 家庭の中の「女性」と「子ども」 2つの虐待問題が”共に視野に入る”時代を迎えて. 保健婦雑誌 (0047-1844) 1999;55(4):345-347.
336. 飯田順三, 門内かおり, 橋本和之, 山内孝之, 稲田直子, 岸本年史. Anorexia Nervosaを契機に境界例の心性が顕著となった10歳女児の1例. 児童青年精神医学とその近接領域 (0289-0968) 1999;40(5):452-459.
337. 富田和巳. 【小児の治療指針】 精神 登校拒否・いじめ・校内暴力. 小児科診療 (0386-9806) 1999;62(増刊):634-637.
338. 福井知美, 上林靖子, 中田洋二郎, 藤井和子, 北道子. 望まない妊娠で生まれた児と母親の精神保健に関する研究. 乳幼児医学・心理学研究 (0918-7065) 1999;8(1):37-52.
339. 平川和子. 【被虐待女性シンドロームヘレイブ・DV・セクハラ・児童期性虐待】 民間シェルターにおけるドメスティック・バイオレンスへの危機介入. アディクションと家族 (1344-4743) 1999;16(3):307-315.
340. 友田尋子. 子どもの虐待へとリフレインする構造に関する研究(その2) リフレインする1つの構造としてのドメスティック・バイオレンス. 大阪市立大学看護短期大学部紀要 (1344-7688) 1999;1:37-42.
341. 國生拓子, 戸澤順子. 【こころのケアの専門性を求めて】 不登校児童にみられた入院生活での集団力動について. こころの看護学 (1343-0556) 1999;3(4):301-308.
342. 廣山祐治, 工藤朝子, 岡野高明, 丹羽真一. 中学生の反社会的行為障害に対する治療的介入. 児童青年精神医学とその近接領域 (0289-0968) 1999;40(1):6-7.
343. 衣笠隆幸. 【家庭における暴力と放任】 暴力と死の本能 クライン派の理論と暴力抑止への提言. 精神科治療学(0912-1862) 1998;13(11):1331-1337.
344. 加藤晴美. 性的暴力 子供の虐待. 母性衛生 (0388-1512) 1998;39(2):261-266.
345. 花田裕子. 今,子どもの心が危ない 親子関係を見直す 家庭内暴力に苦しむ中学生. ナースデータ (0916-6580) 1998;19(7):71-74.
346. 皆川邦直. 【家庭における暴力と放任】 様々な家庭内暴力の病理を読む. 精神科治療学(0912-1862) 1998;13(11):1307-1312.
347. 吉川領一. 【家庭における暴力と放任】 暴力と文化. 精神科治療学 (0912-1862) 1998;13(12):1449-1454.
348. 久保千春, 野崎剛弘. 青年期を中心とした心身症の病態の解明とその治療法に関する研究 乳幼児期のストレスが青年期の生体調節系に及ぼす影響に関する基礎研究. In: 厚生省精神・神経疾患研究委託費による9年度研究報告集; 1998; 1998. p. 499.
349. 宮本洋. いわゆる登校拒否症に家庭内暴力を伴った事例への対応. 精神神経学雑誌 (0033-2658) 1998;100(10):890.
350. 牛島定信. 【現代社会の精神的諸問題】 思春期のこころ 不登校,家庭内暴力,摂食障害など. 日本医師会雑誌(0021-4493) 1998;119(9):1391-1395.
351. 高橋神吾. 【攻撃性のバイオロジー】 現代社会における攻撃性の精神病理 先進国の青少年という視点から. 脳の科学 (1343-4144) 1998;20(9):981-987.
352. 佐藤親次, 小泉義紀, 小島秀悟. 警告義務履行の試みが治療上有効であった事例について. 犯罪学雑誌 (0302-0029) 1998;64(3):69-71.
353. 佐藤親次, 小泉義紀, 小島秀悟, 箕下成子, 本間久美子, 末次幸子, et al. 暴力報道と犯罪との関係について. 犯罪学雑誌 (0302-0029) 1998;64(4):107-110.
354. 佐藤泰三. 【高齢少子化時代の精神保健・医療】 児童思春期の精神保健・医療 校内暴力と少子化. 臨床精神医学(0300-032X) 1998;27(増刊):73-82.
355. 斎藤学. 【高齢少子化時代の精神保健・医療】 ヤング・アダルト世代の精神保健・医療 家庭内暴力と夫婦間の病理. 臨床精神医学 (0300-032X) 1998;27(増刊):171-175.
356. 斎藤学. 【子どもの攻撃性】 被虐待児としての神戸の少年Aと彼の連続殺人について. アディクションと家族 (1344-4743) 1998;15(4):414-426.
357. 斎藤環. 【子どもの攻撃性】 思春期と攻撃性 「サブカルチャー」の視点から. アディクションと家族 (1344-4743) 1998;15(4):393-398.
358. 坂元章, 尾崎恵, 森津太子, 高比良美詠子, 伊部規子. テレビゲームと人間の暴力:メディアのインタラクティブ性の影響力. インタラクシオン'98 1998:109-116.
359. 三橋順子. 【家庭における暴力と放任】 親の子どもへの性暴力. 精神科治療学 (0912-1862) 1998;13(12):1427-1433.
360. 山崎晃資. 現代の青少年の心の問題. 栃木精神医学(0287-2242) 1998;17:3-9.

361. 山本ゆかり. 不登校, 嘔吐, 食べ物を吐き散らす家庭内暴力の12歳男児の1例. 児童青年精神医学とその近接領域(0289-0968) 1998;39(2):194-196.
362. 秋山のみ子. 【児童・生徒の攻撃性とその対応】 学校現場から. 思春期青年期精神医学(0917-3307) 1998;8(2):130-144.
363. 小山和利, 木村睦, 奥村宣久, 高野千代, 蔵本信比古, 遠藤雅之. 青年グループカウンセリングについて 引きこもる後期(30代)青年のグループカウンセリング. In: 北海道立精神保健福祉センター年報; 1998; 1998. p. 101-105.
364. 小倉清. 【児童・生徒の攻撃性とその対応】 その時代性について. 思春期青年期精神医学(0917-3307) 1998;8(2):145-149.
365. 小木曾洋三, 守屋直樹, 生田憲正, 三宅由子, 皆川邦直. 【家庭における暴力と放任】 両親の夫婦間の不和と子供への暴力 境界性パーソナリティ障害を中心に. 精神科治療学(0912-1862) 1998;13(11):1313-1318.
366. 小林久美子, 坂元桂, 火の口ゆりか, 坂元章. テレビゲーム使用と攻撃性の因果関係の検討. In: 日本社会心理学会第39回大会論文集; 1998; 1998. p. 326-327.
367. 庄司一子. 家族・性・暴力 健康支援の立場からその対応を考える 幼児・児童の虐待と家族. 母性衛生(0388-1512) 1998;39(3):66.
368. 松田文雄. 【児童・生徒の攻撃性とその対応】 医療現場から. 思春期青年期精神医学(0917-3307) 1998;8(2):124-129.
369. 松本英夫. 【子どもの情緒】 行為障害の子どもの情緒発達 子どもの攻撃性と情緒発達. 教育と医学(0452-9677) 1998;46(10):862-869.
370. 新井卓, 高橋雄一, 清家洋二, 岩田泰子, 田野稔郎. 家庭内暴力を主症状に入院した症例について. In: 神奈川県精神医学会誌(0288-9617); 1998; 1998. p. 106.
371. 針谷しげ子. 難聴の受容困難な一青年の家庭内暴力をめぐって 教育と支援のあり方を考える. 小児の精神と神経(0559-9040) 1998;38(2):153.
372. 針谷しげ子, 田中美郷. 難聴の受容困難な青年の家庭内暴力の1症例. 小児の精神と神経(0559-9040) 1998;38(2):137-144.
373. 川畑友二. 【家庭における暴力と放任】 子どもの家庭内暴力. 精神科治療学(0912-1862) 1998;13(11):1319-1324.
374. 前田健一. 子どもの孤独感と行動特徴の変化に関する縦断的研究--ソシオメトリック地位維持群と地位変動群の比較. 教育心理学研究 1998;4(4):377-386.
375. 倉本英彦. 思春期青年期精神医学の最前線 思春期青年期の問題行動と攻撃性の精神病理 対人的外傷体験と因果関連性の観点から. 思春期青年期精神医学(0917-3307) 1998;8(1):11-20.
376. 早瀬環, 山本啓一, 山本淑子, 阿比留仁, 西谷陽子, 養輪康, et al. 逸脱行動を示した青少年の剖検例. 日本法医学雑誌(0047-1887) 1998;52(6):412.
377. 太田博子. ケースの見方・考え方 音への過敏性と焦燥・暴力を呈した一青年とその家族への治療的接近. 精神療法(0916-8710) 1998;24(6):579-585.
378. 大内力, 市橋秀夫, 中安信夫, 花村誠一, 皆川邦直. 不登校と家庭内暴力で事例化した対人恐怖症の1症例. 精神科治療学(0912-1862) 1998;13(11):1377-1383.
379. 大内力, 市橋秀夫, 中安信夫, 花村誠一, 皆川邦直. 不登校と家庭内暴力で事例化した対人恐怖症の1症例. 精神科治療学(0912-1862) 1998;13(10):1271-1277.
380. 中村仁志, 齊藤万比古. 遺棄症児童の遊戯療法過程 衝動性のコントロールをめぐる. In: 山口県立大学看護学部紀要(1343-0904); 1998; 1998. p. 63-72.
381. 中澤正夫. 【子どもの攻撃性】 攻撃性制御機構の未成熟. アクションと家族(1344-4743) 1998;15(4):387-392.
382. 田代謙一郎, 重松淳哉, 後藤英一郎, 佐竹宏之. 積極的な家族調整によって不登校と家庭内暴力が改善された1症例. 九州神経精神医学(0023-6144) 1998;44(2):199-207.
383. 田中究, 小林俊三. 【家庭における暴力と放任】 治療の中で小児期の心的外傷の記憶をどう扱うか 解離性同一性障害の治療から. 精神科治療学(0912-1862) 1998;13(12):1441-1447.
384. 渡部京太. 治療者が自分が恐りを解決した過程を伝えることで治療が進展した青年期強迫性障害の1例. 精神分析研究(0582-4443) 1998;42(4):463-465.
385. 日根野尚. 本音を言えない子どものうつ状態について その病理と援助についての1考察. 児童青年精神医学とその近接領域(0289-0968) 1998;39(5):457-467.
386. 飯倉康郎. 【21世紀の児童青年精神科医療をめざして】 激しい自傷他害行為を伴うトゥレット症候群の治療. 児童青年精神医学とその近接領域(0289-0968) 1998;39(1):81-82.
387. 武井庸郎. 思春期行為障害の家族面接について. 家族療法研究(0910-6022) 1998;15(1):37-38.
388. 本山俊一郎, 松永文保. 自殺企図後に多重人格を呈した1例 Fairbairn, W. R. D. の人格理論から. 精神科治療学(0912-1862) 1998;13(1):69-78.
389. 本城秀次, 瀬地山葉矢. 【高齢少子化時代の精神保健・医療】 児童思春期の精神保健・医療 少子化と家庭内暴力. 臨床精神医学(0300-032X) 1998;27(増刊):65-72.
390. 妹尾栄一. 【家庭における暴力と放任】 青年期行為障害の家族的背景. 精神科治療学(0912-1862) 1998;13(12):1417-1425.
391. 妹尾栄一. 【子どもの攻撃性】 少年による殺人

- 犯罪精神医学の視点から、アディクションと家族 (1344-4743) 1998;15(4):406-413.
392. 林紀乃, 松村桜子, 高木徹也, 梶原正弘, 佐藤喜宣. Child abuse の 7 剖検例. 杏林医学会雑誌 (0368-5829) 1998;29(4):591-600.
393. 林直樹. 【子どもの攻撃性】 境界性人格障害の精神病理と暴力. アディクションと家族(1344-4743) 1998;15(4):399-405.
394. 鈴木智美. 分割された自己の吸収過程. 精神分析研究(0582-4443) 1998;42(4):395-397.
395. Kageyama J, Ishii T. 日本における戦前と戦後の自殺及び殺人率の比較 攻撃性及び社会的問題. 犯罪学雑誌(0302-0029) 1997;63(4):122-132.
396. Sugiyama T, Ishii T, Wakako R. 日本の大学病院の小児精神医学的クリニックにおける外来患者の歴史的变化 名古屋大学病院からのデータの解析. International Medical Journal(1341-2051) 1997;4(1):59-65.
397. 皆川邦直. 家庭内暴力の思春期症例が受けた親からの暴力. 思春期青年期精神医学(0917-3307) 1997;7(2):195.
398. 皆川邦直. 【精神神経疾患の状態像と鑑別診断】 青年の家庭内暴力. In: 臨床精神医学(0300-032X); 1997; 1997. p. 189-193.
399. 栗原彬. 子どもと暴力 子どもと暴力の社会学. 精神療法(0916-8710) 1997;23(3):264-266.
400. 佐藤喜一郎. 子どもと暴力 いじめと学校精神保健. 精神療法(0916-8710) 1997;23(3):225-232.
401. 三島卓穂. 強度行動障害の療育 自閉症とトゥレット障害を合併した攻撃的行動への療育. 児童青年精神医学とその近接領域(0289-0968) 1997;38(1):64-65.
402. 山科満. 思春期に暴力が多発した男子の精神病理と精神療法. 思春期青年期精神医学(0917-3307) 1997;7(2):196-197.
403. 山崎晃資. 子どもと暴力 暴力と傷つきやすい子どもたち 世界の子どもは、今. 精神療法(0916-8710) 1997;23(3):219-224.
404. 山本員久. 家庭内暴力にて子宮内胎児死亡と急性腎不全をきたした Crush syndrome の 1 例. 泌尿器科紀要(0018-1994) 1997;43(5):376.
405. 守島利佳. アルコール依存症の家族の子どもに関する研究. アルコール依存とアディクション(0916-8257) 1997;14(1):98-105.
406. 松田勝行, 高田洋子, 福田弘子, 中野和子. 家庭内暴力を呈した青年期の一女性患者と関わって. 日本精神科看護学会誌 1997;40(1):219-221.
407. 成田善弘. ささやかな臨床経験から 子どもの家庭内暴力と家族力動. 家族療法研究(0910-6022) 1997;14(2):123-125.
408. 西見寿博, 市川光太郎. 外来受診の母親への育児不安調査. 小児科診療(0386-9806) 1997;60(2):307-311.
409. 西澤哲. 子どもと暴力 子どもへの虐待と家族虐待を生じる要因としてのトラウマ. 精神療法(0916-8710) 1997;23(3):233-241.
410. 石井利文. 殺人者率と自殺率からみた青少年における世代分類の試み(女性) 攻撃性と社会病理. 日本社会精神医学会雑誌(0919-1372) 1997;5(2):266-267.
411. 石川俊男, 原信一郎, 吾郷晋浩, 川村則行. 思春期心身症の病態の解明における精神神経免疫学的研究. In: 厚生省精神・神経疾患研究8年度研究報告書 青年期を中心とした心身症の病態の解明とその治療法に関する研究; 1997; 1997. p. 35-38.
412. 千賀悠子. 思春期女性の身体にはたらきかける行為の意味についての一考察(1) 抜毛癖の自傷的行為の意味について. 日本総合愛育研究所紀要(0286-4908) 1997;33:295-308.
413. 村松励. 子どもと暴力 薬物非行. 精神療法(0916-8710) 1997;23(3):242-246.
414. 大海聖子. 主治医への怒りの表出を契機に症状の消失をみた体感異常症の 1 例. 心身医学(0385-0307) 1997;37(7):529-530.
415. 大山博史, 小泉毅. 精神保健福祉相談における家庭内暴力への初期対応 本人不在下に実施可能な家族への心理的援助法. 臨床精神医学(0300-032X) 1997;26(4):499-508.
416. 猪股丈二. 家庭内暴力と対策. 最新精神医学(1342-4300) 1997;2(4):341-348.
417. 猪股丈二. 子どもと暴力 離婚と子ども. 精神療法(0916-8710) 1997;23(3):257-263.
418. 藤岡淳子. 子どもと暴力 少女売春. 精神療法(0916-8710) 1997;23(3):247-251.
419. 甘楽昌子. 子どもと暴力 宗教的環境と子ども. 精神療法(0916-8710) 1997;23(3):252-256.
420. 風祭元, 五十嵐禎人, 林直樹. 少年殺害を反復した Klinefelter 症候群の 1 例. 精神医学(0488-1281) 1997;39(10):1045-1052.
421. 鈴木廣子. 夫婦の葛藤が背景にある家庭内暴力 2 症例の治療の検討. 思春期青年期精神医学(0917-3307) 1997;7(2):195-196.
422. 鷺塚昌一. 小児科医にもここまでできる境界領域 家庭内暴力. 小児科(0037-4121) 1997;38(6):813-817.
423. Mashiko H, Yokoyama H, Matsumoto H. 水頭症若年患者の攻撃性に対する trazodone. Psychiatry and Clinical Neurosciences(1323-1316) 1996;50(3):133-136.
424. Yuhua C, Fanqiang M. 家庭内暴力の発症機制と治療 1 症例の考察. 森田療法学会雑誌(0917-7485) 1996;7(1):25-27.
425. 安藤咲穂. 子どもの心の危機 子どもの攻撃性. 小児看護(0386-6289) 1996;19(11):1513-1519.
426. 影山任佐, 石井利文, 長谷川直実. 殺人者率及び自殺率からみた我が国の青少年男性の世代的分類

- の試み 攻撃性と社会病理. 精神医学(0488-1281) 1996;38(8):807-815.
427. 岡崎光洋, 前田美恵子, 水元裕二. 夏季喘息キャンプにおける気分変化 POMS を利用して. 呼吸器心身医学(0919-3324) 1996;13(1):25-27.
428. 瓦谷久志. 家庭内暴力への家族療法の経験. 精神神経学雑誌(0033-2658) 1996;98(2):116-117.
429. 原田幸男. 学校保健 不登校・家庭内暴力・非行. 小児科臨床(0021-518X) 1996;49(増刊):1531-1540.
430. 佐藤隆一. 家庭内暴力を呈したてんかんの青年期男子への心理療法. 児童青年精神医学とその近接領域(0289-0968) 1996;37(2):187-189.
431. 坂口正道. 症候論からみた行動障害 暴力・けんか. 臨床精神医学(0300-032X) 1996;25(7):797-800.
432. 松本和雄, 前田志寿代, 寺田明代. 震災直後における児童の心身症状 阪神大震災1ヵ月での調査の試み. 精神医学(0488-1281) 1996;38(7):719-726.
433. 上林靖子, 藤井和子, 北道子. 注意欠陥多動障害の病態に関する研究 行動の客観的測定による検討. In: 厚生省精神・神経疾患研究7年度研究報告書 児童・思春期における行動・情緒障害の病態解析及び治療に関する研究; 1996; 1996. p. 117-130.
434. 神田秀人. 家族間の会話を治療者がつなぎ合わせる面接を行っている家庭内暴力の1例. 児童青年精神医学とその近接領域(0289-0968) 1996;37(5):435-437.
435. 石井利文. 攻撃性と新人類 社会病理現象を通して, いじめ問題への一寄与. 日本社会精神医学会雑誌(0919-1372) 1996;4(2):213.
436. 千葉良, 吉田倭文男. 幼稚園児の行動上の問題と気質. 仙台赤十字病院医学雑誌(0917-8724) 1996;5(1):43-52.
437. 川谷大治. 症候論からみた行動障害 家庭内暴力. 臨床精神医学(0300-032X) 1996;25(7):801-805.
438. 倉本英彦. 日本版自記式依存質問紙(修正 SADQ)の標準化. 小児の精神と神経(0559-9040) 1996;36(2):147-161.
439. 天野卓雄. 攻撃的行動の続いた高機能自閉症青年への取り組みについて 施設内における個別的なアプローチ. 児童青年精神医学とその近接領域(0289-0968) 1996;37(1):117-118.
440. 徳丸智佐子. 父親を独占するために他の家族を追い出そうとする7歳女兒の遊戯療法. 児童青年精神医学とその近接領域(0289-0968) 1996;37(2):185-187.
441. 妹尾栄一, 阿部恵一郎, 庄司正実. 非行少年における薬物乱用の実態(V) 暴力傾向とのかかわり. 日本アルコール・薬物医学会雑誌(1341-8963) 1996;31(4):384-385.
442. 鈴木啓嗣. 子どもの家庭内暴力に悩む家族へのケースワーク的援助. 児童青年精神医学とその近接領域(0289-0968) 1996;37(1):143-144.
443. Nagamine K, Aonuma K, Shoda H. 精神分裂病回復期患者の描画における変化について 成人精神分裂病に関連した不登校の3例に基づいた. 日本芸術療法学会誌(0916-6688) 1995;26(1):34-41.
444. 井之前弥生. 「鳶が鷹を産んだ」と自らを誇示する家庭内暴力の症例. 精神分析研究(0582-4443) 1995;39(4):240-241.
445. 遠藤謙二. 母の入院を契機に治療展開した行為障害の1例 家庭内暴力への対応をめぐって. 精神神経学雑誌(0033-2658) 1995;97(4):259.
446. 吉村公雄. ニコチン依存症と児童期の親からの体罰との関連について. 精神神経学雑誌(0033-2658) 1995;97(11):1010-1011.
447. 斎藤学. 臨床家からみたアダルト・チャイルド 攻撃的なアダルト・チルドレン 思春期の対親暴力に関する一考察. アルコール依存とアディクション(0916-8257) 1995;12(1):23-30.
448. 寺本勝哉, 大田垣洋子, 柳井一郎. 地域医療 県立広島病院精神科神経科における思春期相談外来統計. 広島医学(0367-5904) 1995;48(5):615-617.
449. 小倉清. 子どもの精神保健 家庭内暴力. 日本医師会雑誌(0021-4493) 1995;113(9):1425-1428.
450. 成田善弘. 思春期青年期と家族 境界確立の努力としての「家庭内暴力」. 思春期青年期精神医学(0917-3307) 1995;5(2):183-190.
451. 星野仁彦, 栗田征武. 学習障害を伴う登校拒否児の病像特徴. 小児の精神と神経(0559-9040) 1995;35(4):285-297.
452. 川谷大治. 親に暴力を振るう子どもたち. 精神分析研究(0582-4443) 1995;39(2):61-70.
453. 倉本英彦. 思春期の攻撃的活動性について. 臨床精神病理(0389-3723) 1995;16(1):86.
454. 丹治光浩, 松本英夫, 可知佳世子. 入院治療を行った不登校児の質的変遷に関する研究. 臨床精神医学(0300-032X) 1995;24(3):305-309.
455. 中安信夫. 初期分裂病の表現変異 離人症, 発作様不安, 攻撃的行動が前景化した3症例. 思春期青年期精神医学(0917-3307) 1995;5(2):145-158.
456. 猪股丈二. 子どもの精神保健 校内暴力, 非行. 日本医師会雑誌(0021-4493) 1995;113(9):1429-1432.
457. 野口規久男. 口唇裂口蓋裂児の矯正治療期における精神医学的問題. 日本口蓋裂学会雑誌(0386-5185) 1995;20(4):181-192.
458. 岡達治, 井上洋一. 粗暴な強迫行為のために治療的接近に困難を感じた強迫性障害の一女子例. 思春期青年期精神医学(0917-3307) 1994;4(2):217-226.
459. 河合洋. 日常患者指導の進めかた 登校拒否・暴力・非行少年の家庭指導の進めかた. Medical Practice(0910-1551) 1994;11(臨増):274-277.
460. 佐藤泰三. 現代のいじめ現象について考える 医療の立場から 児童思春期の「いじめ」. 心と社会(0023-2807) 1994;25(4):35-43.
461. 斎藤学. 「仮面の家」をめぐって 嗜癖の起源およ

- びその暴力との関係. アルコール依存とアディクション(0916-8257) 1994;11(2):99-108.
462. 斎藤学. 子どものトラウマとしての夫婦間暴力. アルコール依存とアディクション(0916-8257) 1994;11(3):193-200.
463. 阪本州弘, 若林一郎, 吉本佐雅子. CMI で易怒性を示す青年男子の血清 Triglyceride, Total-cholesterol, HDL-cholesterol 値及びその運動負荷による変動について. 民族衛生(0368-9395) 1994;60(6):315-321.
464. 守屋直樹, 三宅由子, 皆川邦直. 青年期の境界パーソナリティ障害の経過と予後 特に抑うつとの関連から. 思春期青年期精神医学(0917-3307) 1994;4(2):152-158.
465. 小田晋. 現代のいじめ現象について考える 現代人の攻撃性について その古態心理学. 心と社会(0023-2807) 1994;25(4):8-18.
466. 小平朋江, 入江拓, 岩瀬信夫. 対人緊張の強い家庭内暴力児への援助をふりかえて A が引き起こした看護チームの混乱から学んだこと. In: 聖隷学園浜松衛生短期大学紀要(0388-5666); 1994; 1994. p. 91-94.
467. 松永優一. 思春期家庭内暴力の成因について 福岡大学病院過去 4 年間の調査から. 精神神経学雑誌(0033-2658) 1994;96(3):234.
468. 上林靖子, 藤井和子, 北道子. 注意欠陥・多動障害の病態に関する研究(その 1)DSM-3-R に準拠した調査表の親による評価から. In: 厚生省精神・神経疾患研究 5 年度研究報告書 児童・思春期における行動・情緒障害の病態解析及び治療に関する研究; 1994; 1994. p. 67-74.
469. 水谷隆政. 青年期と攻撃性. 精神神経学雑誌(0033-2658) 1994;96(1):67.
470. 青木省三, 鈴木啓嗣, 塚本千秋. 青年期の不潔恐怖症について 不潔視の対象による分類の試み. 児童青年精神医学とその近接領域(0289-0968) 1994;35(3):251-262.
471. 石川元. 思春期問題と森田療法 森田療法と家庭内暴力. 森田療法学会雑誌(0917-7485) 1994;5(2):267-269.
472. 前田並恵. 精神障害者による重大犯罪の実態 沖縄県における 5 年間の調査から. 九州神経精神医学(0023-6144) 1994;40(3-4):273-289.
473. 大下朋成, 西島加寿代, 仲野由季子. 心療小児科開設 6 年間の分析. 小児科臨床(0021-518X) 1994;47(10):2243-2252.
474. 大山朗宏. 家庭内暴力に引き続き発症した精神分裂病. 精神科治療学(0912-1862) 1994;9(11):1299-1304.
475. 池永佳司. 登校拒否, 家庭内暴力を示した若年性うつ病の一例. 児童青年精神医学とその近接領域(0289-0968) 1994;35(4):402-406.
476. 藤吉晴美. 義父への暴力を繰り返す青年の治療. 精神神経学雑誌(0033-2658) 1994;96(3):234.
477. Nanri K. 摂食異常青年期少女の習慣性顔面引っ掻きと万引き 特に攻撃性と" a container"に関する取扱いノート. The Japanese Journal of Psychiatry and Neurology(0912-2036) 1993;47(4):963.
478. 臼井樹子. 家庭内暴力を呈した 2 症例の治療経験から. 児童青年精神医学とその近接領域(0289-0968) 1993;34(1):67.
479. 吉田一郎. 前頭葉萎縮を見た不安を主訴とする家庭内暴力の 1 症例 精神症状と前頭葉萎縮の関連について. 九州神経精神医学(0023-6144) 1993;39(1):95.
480. 原田真理. 青春期の依存と自立の葛藤をめぐって 患者の強い攻撃性への戸惑い. 精神分析研究(0582-4443) 1993;37(4):378-380.
481. 斎藤万比古, 山崎透, 奥村直史. 登校拒否の成因および病態について(4)登校拒否群の対照群の成育史についての比較検討(5)三年間のまとめ. In: 厚生省精神・神経疾患研究 4 年度研究報告書 児童・思春期における行動・情緒障害の成因と病態に関する研究; 1993; 1993. p. 67-75.
482. 若林慎一郎. 登校拒否と家庭内暴力. In: こころの科学(0912-0734); 1993; 1993. p. 38-41.
483. 小田晋. 組織暴力団と少年犯罪の病理 少女を人質として大量殺人を行った事例を中心に. 犯罪学雑誌(0302-0029) 1993;59(3):130.
484. 松田文雄. 家庭内暴力, 不登校, 退学の後入院した青年期境界例 絵を持参しながらの精神療法. 児童青年精神医学とその近接領域(0289-0968) 1993;34(2):198-199.
485. 西沢哲. 青年期になって家庭内暴力を呈した事例の家族のロールシャッハ反応. 児童青年精神医学とその近接領域(0289-0968) 1993;34(1):89.
486. 青木省三, 山本文子, 王谷英才. 比較文化精神医学 攻撃行動および自己破壊行動の比較精神医学的研究 日本と英国の精神病状態の青年を対象として. 精神科治療学(0912-1862) 1993;8(12):1483-1489.
487. 川谷大治. こどもの精神医学 家庭内暴力とその対応. 臨床精神医学(0300-032X) 1993;22(5):549-555.
488. 川野雅資. 精神科クリニカルナーススペシャリストの役割と機能を探る 問題行動をもつ高校生の相談を通して. 東京女子医科大学雑誌(0040-9022) 1993;63(8):717-725.
489. 大田垣洋子, 横田則夫, 田宮聡. 境界性人格障害を有する摂食障害者の衝動性の評価 ソンディ・テストによる検討. 心身医学(0385-0307) 1993;33(8):659-664.
490. 堅谷修. 家庭内暴力を主徴とする患者の社会復帰への援助 両親へのアプローチを試みて. アルメイダ医報(0913-7343) 1993;18(3):256-257.
491. 中村泰子, 生野照子, 上原優子. 衝動性制御の困難と母子関係. 子どもの心とからだ(0918-5526) 1993;2(1-2):81-90.
492. 堤啓不登校と家庭内暴力. 精神療法(0916-8710)

- 1993;19(6):518-529.
493. 武石恭一. 10代のこころを診る 思春期相談のために(3) 家庭内暴力. 公衆衛生(0368-5187) 1993;57(3):201-204.
494. 鈴木広子, 竹内淳子, 酒井明夫. 幼児期から慢性的な虐待を受け思春期に神経症状を呈した中学生 3 症例 慢性的虐待における家族病理の検討. 児童青年精神医学とその近接領域(0289-0968) 1993;34(5):465-473.
495. Mashimoto S, Hirano H, Miyoshi A. 青年期精神疾患の内分泌的分析:ステロイド代謝物(尿中 17KS)尿中濃度の変化. The Bulletin of the Yamaguchi Medical School(0513-1812) 1992;39(1-2):13-20.
496. 安田道子, 加藤京子, 丹理子. CMI による高校生の自覚症状についての研究. 学校保健研究(0386-9598) 1992;34(9):426-431.
497. 永井洋子. 児童・思春期の精神保健 親への攻撃性の観点からの検討. 児童青年精神医学とその近接領域(0289-0968) 1992;33(4):345-346.
498. 円山一俊, 西ゆか. 登校拒否と自殺, 家庭内暴力, いじめ・いじめられおおよびその背景. 社会精神医学(0388-2564) 1992;15(2):109-117.
499. 館直彦. 虐待, マゾヒズム, そして自己愛. 精神分析研究(0582-4443) 1992;36(2):127-137.
500. 館哲朗. 摂食障害患者に特徴的な集団力動 入院治療における力動的集団精神療法の意義. 思春期青年期精神医学(0917-3307) 1992;2(1):73-85.
501. 玉置暢子, 田口康仁, 新保いずみ. 家庭内暴力と服薬自殺をくりかえす女性境界例の回復要因について. 社会精神医学研究所紀要(0285-1741) 1992;21(1):24-32.
502. 佐藤俊子. 対人緊張・家庭内暴力を克服した女子青年の自己形成過程への援助に関する事例報告. In: 大阪府立公衆衛生研究所研究報告 精神衛生編(0289-5900); 1992; 1992. p. 129-137.
503. 斎藤学. 家族の中の暴力 性的児童虐待と近親姦. アルコール依存とアディクション(0916-8257) 1992;9(3):203-209.
504. 坂井聖二. 家族の中の暴力 小児科領域からみた児童虐待. アルコール依存とアディクション(0916-8257) 1992;9(3):182-189.
505. 上林靖子, 藤井和子, 中田洋二郎. ライフイベントと児童・思春期の情緒の障害に関する研究(その1) 学童前期におけるライフイベントとその対処行動. In: 厚生省精神・神経疾患研究平成3年度研究報告書 児童・思春期における行動・情緒障害の成因と病態に関する研究; 1992; 1992. p. 33-40.
506. 水野悌一. 思春期の逸脱行動 暴力・非行・自殺. 小児医学(0583-1180) 1992;25(3):491-506.
507. 川谷大治. 家庭内暴力と逆転移. 精神分析研究(0582-4443) 1992;36(4):331-333.
508. 川谷大治. 虐待と家庭内暴力. 精神分析研究(0582-4443) 1992;36(2):153-160.
509. 猪子香代, 杉山登志郎, 金子寿子. 児童青年期の神経症の問題における年齢特性について. 児童青年精神医学とその近接領域(0289-0968) 1992;33(3):218-226.
510. 藤川徳美, 藤田康信, 安常香. 内観療法が有効であった職場不適応症の1例. 精神科治療学(0912-1862) 1992;7(7):783-789.
511. 柏木宏介. 小児科に持ち込まれる「いじめ」の問題に関する研究. In: 日本心理学会 56 回大会発表論文集; 1992; 1992. p. 306.
512. 米沢宏. 家族の中の暴力 思春期にはじまる親への暴力. アルコール依存とアディクション(0916-8257) 1992;9(3):219-226.
513. 妹尾栄一. 家族の中の暴力 家庭内暴力の比較文化的考察. アルコール依存とアディクション(0916-8257) 1992;9(3):227-234.
514. Horikoshi R, Kaneko M, Sato K. 接着剤吸飲者における精神症状と反社会的行動. 犯罪学雑誌(0302-0029) 1991;57(1):1-7.
515. 円山一俊, 西ゆか, 山下節義. 某女子短大生の喫煙と性行動(第2報) 飲酒および思春期の行動問題との関連について. 日本公衆衛生雑誌(0546-1766) 1991;38(4):278-285.
516. 灰田美知子, 奥平博一, 須甲松伸. 気管支喘息患者の症状と心理の相関について COPD 臨床心理研究班調査. Progress in Medicine(0287-3648) 1991;11(10):2807-2810.
517. 原千洋. 怒りの発作による他者への暴行および前腕への自傷を繰り返した思春期境界性人格障害患者の看護の一例. 医療(0021-1699) 1991;45(増刊):384.
518. 江口研. 不登校を呈した青年期精神分裂病に関する臨床的研究. 岐阜大学医学部紀要(0072-4521) 1991;39(2):213-237.
519. 斎藤宏, 関谷道夫, 斎藤由美子. 家庭内暴力の病理と治療 施設入所を中心とした多面的アプローチ. 弘前医学(0439-1721) 1991;42(4):424-431.
520. 阪上裕子. 家庭内暴力に対するシステミック家族療法 保健福祉の実践理論に関する研究(第1報). 公衆衛生研究(0916-6823) 1991;40(1):17-26.
521. 崎尾英子. 登校拒否, 家庭内暴力などを有する家族に見られる二重拘束特性とその治療. 慶應医学(0368-5179) 1991;68(3):335-350.
522. 松田文雄. いじめられっ子と治療的介入 イジメラレーズのゆくえ. 児童青年精神医学とその近接領域(0289-0968) 1991;32(5):371-372.
523. 清水敏子. 家庭内暴力と地域サポート・システム. 児童青年精神医学とその近接領域(0289-0968) 1991;32(5):396.
524. 清瀬豪久, 井上桂, 中瀬玲子. 発作性の恐怖感が出現した登校拒否の1例. 三重医学(0385-0978) 1991;35(3):559-562.
525. 浅田護. 強迫, 抑うつ, 不登校, 家庭内暴力を呈し,

- 治療に難渋を極めた思春期の症例. 精神分析研究 (0582-4443) 1991;35(4):378-380.
526. 伝田健三, 泉剛, 島中昭二. 強迫の症例 精神療法関連 児童・青年期の強迫神経症に対する箱庭療法. 臨床精神医学 (0300-032X) 1991;20(11):1767-1779.
527. 渡辺直樹. 子どもの心とからだ 暴力と非行. 日本医師会雑誌 (0021-4493) 1991;105(9):1519-1522.
528. 東豊. 思春期と家族 登校拒否・家庭内暴力の家族を中心に. 家族療法研究 (0910-6022) 1991;8(2):126-131.
529. 八田達夫, 福島順子, 寺門佳子. 健常児を対象とした衝動性眼球運動における警告刺激の影響. In: 北海道大学医療技術短期大学部紀要 (0915-2083); 1991; 1991. p. 97-104.
530. 武井陽一, 鈴木茂. 「居場所がない」ことを訴える患者に提供する居場所 院内学級についての精神病理学的考察. 臨床精神病理 (0389-3723) 1991;12(2):133-143.
531. 武貞昌志. 学校保健指針 登校拒否・家庭内暴力・非行. 小児科臨床 (0021-518X) 1991;44(増刊):1905-1914.
532. 安部法子. 自閉症児・者のパニック 家庭内暴力様パニックを呈している症例について. 児童青年精神医学とその近接領域 (0289-0968) 1990;31(1):92-93.
533. 稲垣卓, 小西真行, 久保義和. 登校拒否の治療に関する研究 本人を除く家族カウンセリングおよび動的家族画(KFD)を中心に. In: 厚生省精神・神経疾患研究平成元年度研究報告書 児童・思春期精神障害の成因及び治療に関する研究; 1990; 1990. p. 155-164.
534. 稲村博. 青年期と家庭・家族 家庭内暴力. 臨床精神医学 (0300-032X) 1990;19(6):817-825.
535. 横田圭司. 青年期自閉症者の攻撃的行動. 児童青年精神医学とその近接領域 (0289-0968) 1990;31(1):19-20.
536. 岡堂哲雄. 青年期と家庭・家族 親による子への暴力. 臨床精神医学 (0300-032X) 1990;19(6):826-830.
537. 関丕. 思春期・青年期の攻撃性について. 社会精神医学 (0388-2564) 1990;13(3):184-188.
538. 岩波達見. 家庭内暴力と Bulimia を示した 1 男性例. 心身医学 (0385-0307) 1990;30(7):667-668.
539. 高岡健, 栗田有代, 本間博行. 思春期やせ症の回復過程に関する臨床医学的考察. 児童青年精神医学とその近接領域 (0289-0968) 1990;31(5):351-359.
540. 佐藤泰三. 6Hz small spike and wave を示す児童・思春期精神疾患の臨床症状の特徴. 臨床脳波 (0485-1447) 1990;32(5):301-306.
541. 佐藤泰三. 児童・思春期精神疾患の精神生理学的検討 WSP を呈する症例について. In: 厚生省精神・神経疾患研究平成元年度研究報告書 児童・思春期精神障害の成因及び治療に関する研究; 1990; 1990. p. 127-136.
542. 山田通夫, 水木泰, 増本茂樹. 児童・思春期の内分泌動態に関する研究 ステロイド代謝系(尿中 17KS)について. In: 厚生省精神・神経疾患研究平成元年度研究報告書 児童・思春期精神障害の成因及び治療に関する研究; 1990; 1990. p. 137-146.
543. 児玉真澄. 不登校・家庭内暴力の 1 例 その家族療法の試み. 心身医学 (0385-0307) 1990;30(7):668.
544. 小倉清, 大島正浩, 石光聖秀. 児童思春期の精神障害者に対する個室を使用した精神科集中治療. In: 厚生省精神・神経疾患研究平成元年度研究報告書 児童・思春期精神障害の成因及び治療に関する研究; 1990; 1990. p. 172-181.
545. 松本雅彦. 対人恐怖と家庭内暴力. 臨床精神医学 (0300-032X) 1990;19(6):1004-1006.
546. 生地新, 森岡由起子, 十束支朗. ライフイベント法による児童・思春期精神障害の成因に関する研究 (その 2) 中学生におけるライフイベントの評価方法に関する検討. In: 厚生省精神・神経疾患研究平成元年度研究報告書 児童・思春期精神障害の成因及び治療に関する研究; 1990; 1990. p. 97-104.
547. 西田寿美. 4 世代間葛藤により過呼吸発作, 奇声, 暴力等の症状を呈した小 3 の女子について 家族療法と個人療法の検討. 児童青年精神医学とその近接領域 (0289-0968) 1990;31(1):93.
548. 西野力男. 起立性調節障害 (OD) の心理的背景. 小児科臨床 (0021-518X) 1990;43(11):2387-2390.
549. 石淵真理子. 家庭内暴力を主訴とした不登校症児の箱庭療法の経験. 日本小児科学会雑誌 (0001-6543) 1990;94(1):179.
550. 太田昌孝, 永井洋子, 金生由紀子. 児童・思春期の精神保健に関する研究. In: 厚生省精神・神経疾患研究平成元年度研究報告書 児童・思春期精神障害の成因及び治療に関する研究; 1990; 1990. p. 21-39.
551. 大隈絃子, 山下洋, 高田博行. 入院治療が選択された児童思春期の精神障害 児童思春期神経症性障害における入院治療の効果について (その 3). In: 厚生省精神・神経疾患研究平成元年度研究報告書 児童・思春期精神障害の成因及び治療に関する研究; 1990; 1990. p. 165-171.
552. 大倉興司. 見逃されている患者のケア いじめの被害者・加害者としての遺伝性疾患をもつ子ども. 臨床遺伝研究 (0387-9577) 1990;12(1-2):10-25.
553. 大沢多美子, 岡田隆介, 高田広之進. 精神科外来における「いじめられ」患者の実態. 発達心理学と医学 (0915-731X) 1990;1(4):539-546.
554. 渡辺俊之, 館哲朗. 母親のうつ状態と長男の家庭内暴力が問題となった家族 システミックな家族療法. 家族療法研究 (0910-6022) 1990;7(2):139-146.
555. 渡辺直樹, 小元伸子, 小坂敦二. 日独青少年のライフ・スタイルの比較. 聖マリアンナ医科大学雑誌 (0387-2289) 1990;18(3):306-311.

556. 日比かおり, 清水将之. 抜毛症の一治療例 絵画を中心とする遊戯療法を中心に. 児童青年精神医学とその近接領域(0289-0968) 1990;31(2):169-176.
557. 福井進, 和田清, 伊予雅臣. 薬物依存の疫学的調査研究(その3) 乱用・依存の発生因子をめぐって. In: 厚生省精神・神経疾患研究平成元年度研究成果報告書 薬物依存の成因及び病態に関する研究; 1990; 1990. p. 171-181.
558. 福永保郎. 学校と青年期 校内暴力といじめ. 臨床精神医学(0300-032X) 1990;19(6):837-841.
559. 堀川直美. 夜驚症を呈した4歳女児の遊戯療法過程. 心理臨床学研究(0289-1921) 1990;7(3):56-67.
560. 本城秀次. 登校拒否, 家庭内暴力の病前性格と治療関係. 精神科治療学(0912-1862) 1990;5(9):1143-1153.
561. 有村秀人. 多彩な身体症状・自傷行為・家庭内暴力をくり返したファロー四徴症の1例. 日本小児科学会雑誌(0001-6543) 1990;94(5):1256.
562. 鈴木健二. アルコール症の親を持つ青年期精神障害. 精神神経学雑誌(0033-2658) 1990;92(2):79-88.
563. 稲村博. [家族への虐待とその治療(2)] 家庭内暴力の病理と治療. 精神科治療学(0912-1862) 1989;4(6):691-697.
564. 岡田隆介. 男子の倒錯的性非行 単一型・多種多方向型の比較を中心に. 児童青年精神医学とその近接領域(0289-0968) 1989;30(5):379-387.
565. 岡島幸代. 家庭内暴力を伴う登校拒否に対する漢方薬の使用経験. 日本東洋医学雑誌(0287-4857) 1989;40(2):99-101.
566. 梶山有二, 須藤香保利, 宮川香織. 児童・思春期の精神分裂病児の発症契機をめぐって いじめられ・なかまはずれ体験が及ぼす学校生活復帰への影響について. 埼玉県医学会雑誌(0389-0899) 1989;24(4):885-889.
567. 宮崎隆吉, 春田有二, 多田由宇子. [家族への虐待とその治療(2)] 「家庭内暴力」家族会の試み. 精神科治療学(0912-1862) 1989;4(6):709-719.
568. 高橋神吾, 柴田洋子. 思春期家庭内暴力の臨床的考察 特に父親の分類に関して. 東京精神医学会誌(0918-970X) 1989;7(1):6-12.
569. 高津光洋. 暴行中に突然死した Bland-White-Garland 症候群の1例. 東京慈恵会医科大学雑誌(0375-9172) 1989;104(2):430.
570. 佐藤栄一. 癲癇を合併した粗暴な思春期女子の心理療法. アレルギーの臨床(0285-6379) 1989;9(11):830.
571. 坂田伸子, 坂田久美子, 塚本綾子. 小児病棟のいじめ 20歳代・30歳代看護婦の意識より. In: 福岡県立看護専門学校看護研究論文集; 1989; 1989. p. 15-26.
572. 三原竜介, 坂口正道, 木崎康夫. 青年期発症の分裂病患者の幼・小児期の研究 対人関係と行動特性について. 精神医学(0488-1281) 1989;31(12):1251-1259.
573. 児玉三千江. 事例からみる保健相談 家庭内暴力 家族とのかかわりを通して. 公衆衛生(0368-5187) 1989;53(5):350-351.
574. 児玉真澄. 家庭内暴力 その家族療法的アプローチの試み. 日本小児科学会雑誌(0001-6543) 1989;93(11):2569-2570.
575. 柴山憲三, 渡辺文子. 児童・青年の問題(心身症, 対人恐怖, 登校拒否, 家庭内暴力, 非行等)への提言 碧洞憲三の顕照カウンセリング. 日本精神病院協会雑誌(0286-0244) 1989;8(12):1126-1134.
576. 小島賢一. 非行少年に見られる「いじめ」について(5). In: 日本教育心理学会 31 回総会発表論文集; 1989; 1989. p. 287.
577. 松橋俊夫. 家庭内暴力に対する漢方治療. 日本東洋医学雑誌(0287-4857) 1989;39(4):298.
578. 松橋俊夫. 青春危機と漢方 柴胡加竜骨牡蠣湯が奏効した家庭内暴力の一例. 日本東洋医学雑誌(0287-4857) 1989;40(1):33-41.
579. 石川義博, 青木四郎. [神経症の発症機制と診断] 家庭内暴力の発症機制と診断・治療. In: 精神科MOOK; 1989; 1989. p. 160-169.
580. 石川元. [現代社会と家族 諸病態との関連から] 核家族の「成熟拒否」と子どもの思春期危機 食行動異常, 窃盗癖, 家庭内暴力, 登校拒否. 精神医学(0488-1281) 1989;31(6):585-591.
581. 川崎葉子, 清水康夫, 三島卓穂. [自閉的な発達障害に併発する精神的問題] 自閉的な発達障害児(者)にみられることのある自傷と攻撃的行動. 発達障害研究(0387-9682) 1989;11(1):26-31.
582. 草川安由里, 松山正光, 鈴木鋭吉. 思春期病棟における家庭内暴力に対する看護. In: 精神科看護(0910-5794); 1989; 1989. p. 36-40.
583. 増井美保子, 井出浩, 植木雅治. 情緒障害児短期治療施設における不登校児童の入所治療と退所後の適応状態. 臨床精神医学(0300-032X) 1989;18(8):1269-1277.
584. 弟子丸元紀, 荒木邦生, 蒔田多津子. 前思春期に発症し思春期中期に増悪したうつ病例 境界人格障害との関係. 精神医学(0488-1281) 1989;31(7):717-724.
585. 柏木優子. 家庭内暴力の症例をとおして. In: 日本精神科看護学会誌; 1989; 1989. p. 153-155.
586. 北山修. 自虐的世話役について. 精神分析研究(0582-4443) 1989;33(2):93-101.
587. 本城秀次. [家族への虐待とその治療(2)] 登校拒否に伴う家庭内暴力の治療. 精神科治療学(0912-1862) 1989;4(6):699-707.
588. Fukuda K. 思春期登校拒否児における休止-活動周期と親への暴行について. The Japanese Journal of Psychiatry and Neurology(0912-2036) 1988;42(1):144.

589. Honjo S, Wakabayashi S. 日本における家庭内暴力 名古屋大学病院精神科の経験から. *The Japanese Journal of Psychiatry and Neurology*(0912-2036) 1988;42(1):5-10.
590. Ushijima S. 境界例の治療における青春前期の心性の意義. *The Japanese Journal of Psychiatry and Neurology*(0912-2036) 1988;42(1):23-33.
591. 阿部徳一郎. 対人関係よりみた「登校拒否症」の経過分類とその精神病理学的考察. *児童青年精神医学とその近接領域* (0289-0968) 1988;29(3):173-186.
592. 岡田隆介. 攻撃性 思春期を中心として 臨床的観点から. *精神神経学雑誌* (0033-2658) 1988;90(8):642.
593. 岡田隆介. 少年非行にみられる攻撃性の意味と方向. *九州神経精神医学* (0023-6144) 1988;34(2):120-124.
594. 岡野寿恵. 学校・家庭・病院内で衝動的攻撃行為をくり返した思春期症例. *精神神経学雑誌* (0033-2658) 1988;90(8):649.
595. 菊地孝則, 高野晶. Psycho-Social Study 事例研究 離人症状と家庭内暴力を呈した青年期症例. *臨床透析*(0910-5808) 1988;4(12):1763-1767.
596. 高橋隆一, 野本文幸, 奥寺崇. 中学生の精神保健実態調査(第1報). *児童青年精神医学とその近接領域*(0289-0968) 1988;29(5):326-349.
597. 黒木宣夫, 田中美代子. 家族危機のなかで発症した思春期 2 症例. *精神療法* (0916-8710) 1988;14(1):45-53.
598. 佐藤正二, 佐藤容子, 高山巖. 拒否される子どもの社会的スキル. *行動療法研究* (0910-6529) 1988;13(2):126-133.
599. 小西省三. 母親への家族療法的対応により軽快した不登校・家庭内暴力の一例. *愛媛医学* (0286-3677) 1988;7(4):539.
600. 小田晋. 攻撃性 思春期を中心として 文化・社会的観点から. *精神神経学雑誌* (0033-2658) 1988;90(8):642.
601. 小田晋. 思春期の攻撃性 その文化・社会的側面九州神経精神医学(0023-6144) 1988;34(2):111-119.
602. 上田格. 多動児の臨床的研究と概念規定. *近畿大学医学雑誌*(0385-8367) 1988;13(4):551-566.
603. 杉町秀子. 家庭内暴力児の看護 自分の気持ちを言語化して表現できるようにまで. *医療* (0021-1699) 1988;42(増刊2):311.
604. 西園昌久. 会食障害, 家庭内暴力, ヒステリー症状を呈した思春期の一症例 *精神科症例研究*. 福岡大学医学紀要(0385-9347) 1988;15(1):143-150.
605. 切池信夫, 西脇新一, 永田利彦. Bulimia の男性例について. *臨床精神医学* (0300-032X) 1988;17(2):205-210.
606. 川上保之. 中学生の「暴力」と「不適応」 日本, 西ドイツ, タイ, インドネシアの比較研究. *弘前医学* (0439-1721) 1988;40(3):392-403.
607. 莊司治. 校内暴力の社会精神医学的研究 家庭内暴力との比較. *福島医学雑誌* (0016-2582) 1988;38(4):660.
608. 村上直人. 小児病棟における「いじめ」について. *こころの健康*(0912-6945) 1988;3(1):103.
609. 大島浩伸, 皆川正男. Rud 症候群の 1 例 精神症状を中心として. *精神医学* (0488-1281) 1988;30(5):563-568.
610. 中島幸夫. 思春期精神障害者の看護 家庭内暴力を主とする症例. In: *精神保健*(0912-6589); 1988; 1988. p. 46.
611. 弟子丸元紀, 金山寿一, 渡辺健次郎. 児童・思春期(18歳以下)発症の精神分裂病の状態像 昭和38-42年と昭和 56-60 年入院例の比較. *精神医学* (0488-1281) 1988;30(8):865-875.
612. 東方田芳邦. 思春期家庭内暴力の入院例の臨床的検討. *精神神経学雑誌* (0033-2658) 1988;90(8):648.
613. 南部靖, 児玉照彰, 東海林寛子. 前思春期の子供たちを対象とした入院治療の試み. *集団精神療法* (0912-4268) 1988;4(1):57-61.
614. 富田和巳. [行動小児科学] 教育現場での行動問題(いじめ, 校内暴力など) 小児医学の立場から. *小児科診療*(0386-9806) 1988;51(1):35-39.
615. 武貞昌志. [学校保健] 登校拒否・家庭内暴力・非行. *小児科臨床* (0021-518X) 1988;41(増刊):2878-2890.
616. 本城秀次. 家庭内暴力を伴う登校拒否児における「いじめられ」体験について. *児童青年精神医学とその近接領域*(0289-0968) 1988;29(2):127-135.
617. 野沢栄司. 青年期の不安・攻撃. In: *精神科看護* (0910-5794); 1988; 1988. p. 13-18.
618. 阿部徳一郎. 青年期家庭内暴力症例の入院治療. *精神神経学雑誌*(0033-2658) 1987;89(6):451.
619. 遠山敏. 非行と精神衛生 粗暴非行を中心として. In: *精神科MOOK*; 1987; 1987. p. 158-165.
620. 奥村透. 激しい暴力行為と反社会的行為を繰り返す青年期の 1 症例について. *精神神経学雑誌* (0033-2658) 1987;89(7):549.
621. 岡田隆介. 女子性非行の時代推移とその攻撃性について. *児童青年精神医学とその近接領域* (0289-0968) 1987;28(5):283-289.
622. 河内卓, 小口ミヨ, 広田千代子. 事例紹介 父と子 家庭内暴力と同意入院. *公衆衛生情報* 1987;17(4):16-18.
623. 海野和夫. いじめの理解と対処 教育の立場から. *児童青年精神医学とその近接領域* (0289-0968) 1987;28(2):115-118.
624. 梶山有二. 小児期の後頭部突発性徐波と精神発達との関連について. *小児の精神と神経*(0559-9040) 1987;27(3):135-144.

625. 菊池章, 荒木均, 稲村博. 不登校・家庭内暴力を伴った Dandy-Walker 症候群(亜型)の1例. 精神医学(0488-1281) 1987;29(11):1179-1185.
626. 宮本信也. いじめが原因で心身症状を呈し小児科を受診した患児の状況. 児童青年精神医学とその近接領域(0289-0968) 1987;28(1):58.
627. 江川びん成. いじめ. In: 精神科 MOOK; 1987; 1987. p. 118-126.
628. 江幡玲子. 思春期暴力を考える. In: 看護 MOOK; 1987; 1987. p. 189-195.
629. 黒木宣夫. てんかんを有する思春期症例における家族療法. 思春期学(0287-637X) 1987;5(3):330-336.
630. 黒木宣夫, 田中美代子. すさまじい家庭内暴力を呈したてんかん児の家族療法. 家族療法研究(0910-6022) 1987;4(1):10-17.
631. 佐藤喜一郎, 伊藤郁子, 森田左紀子. いじめられっ子と神経症・心身症 その特徴と学校側との連携上の問題点. 児童青年精神医学とその近接領域(0289-0968) 1987;28(2):110-115.
632. 坂井千鶴子. 精神科医から診たいじめ. 人間の医学(0385-924X) 1987;22(5):322-325.
633. 坂本朗子, 渡辺義文, 樋口輝彦. 登校拒否, 家庭内暴力, 幻聴など多彩な精神症状を呈した特発性副甲状腺機能低下症の1例. 埼玉医科大学雑誌(1347-1031) 1987;14(2):161-166.
634. 三野善央, 永松清明, 吉田健男. 青春期に妄想状態を呈した注意集中障害の1症例. 児童青年精神医学とその近接領域(0289-0968) 1987;28(4):226-233.
635. 山本晃, 井上洋一, 横井公一. 西ドイツにおける不登校. 社会精神医学(0388-2564) 1987;10(3):248-254.
636. 小牧元, 松尾公孝, 菊川誠. [思春期のやせに関する問題]心理テストからみた神経性食思不振症者の特徴 Bulimia を伴う type と伴わない type の比較を中心に. 思春期学(0287-637X) 1987;5(1):123-129.
637. 松本英夫. いじめられっ子の症状 その意味と治療について. 社会精神医学(0388-2564) 1987;10(3):221-222.
638. 松本真理子. いじめられっ子の小児科における入院治療について 心因性発熱を呈した3症例を通して. 児童青年精神医学とその近接領域(0289-0968) 1987;28(1):58-59.
639. 森忠繁, 林正, 外川勝己. 中学生用簡易健康調査質問紙票の作成の試み(第5報) 因子的妥当性の検討. 学校保健研究(0386-9598) 1987;29(1):32-40.
640. 浅野弘毅, 望月美知子, 杉博. [境界例の治療]境界例のデイケア. 精神科治療学(0912-1862) 1987;2(3):357-368.
641. 村瀬嘉代子. 「いじめ」への治療的アプローチ. 児童青年精神医学とその近接領域(0289-0968) 1987;28(2):118-121.
642. 大沢多美子. 診療所からみた「いじめ」の実態. 児童青年精神医学とその近接領域(0289-0968) 1987;28(1):57.
643. 滝井泰孝, 関口博久. 性的虐待について 仙台少年鑑別所に収容された9例を通して. 児童青年精神医学とその近接領域(0289-0968) 1987;28(5):290-298.
644. 竹内直樹. 前思春期の神経性食欲不振症 症状特徴と類型. 横浜医学(0372-7726) 1987;38(4):503-516.
645. 長山恵一. 登校拒否の母親面接の1例 治療場面に現れてくるものと現れないもの. 精神療法(0916-8710) 1987;13(2):162-167.
646. 渡辺久子. 横浜の一市中総合病院神経科に来所する「いじめ」ケースについて. 児童青年精神医学とその近接領域(0289-0968) 1987;28(1):56.
647. 渡辺直樹. いじめに関する統計学的考察. 児童青年精神医学とその近接領域(0289-0968) 1987;28(1):54.
648. 藤川英昭, 小林隆児, 古賀靖彦. 大学入学後に精神病的破綻をきたし, 抑うつ, 自殺企図を示した19歳の Asperger 症候群の1例. 児童青年精神医学とその近接領域(0289-0968) 1987;28(4):217-225.
649. 武井陽一. 登校拒否における「いじめ」について. 児童青年精神医学とその近接領域(0289-0968) 1987;28(1):55-56.
650. 福井安彦. HWE ユーストレス法による心身育児 いじめへの対応. 人間の医学(0385-924X) 1987;22(5):354-357.
651. 平井信義. いじめの構造. 人間の医学(0385-924X) 1987;22(5):326-331.
652. 米倉五郎. 家庭内暴力の4ケースについて 心理療法からの一考察. 精神神経学雑誌(0033-2658) 1987;89(6):451.
653. 本城秀次. 家庭内暴力を伴う登校拒否児における「いじめられ」体験について. 児童青年精神医学とその近接領域(0289-0968) 1987;28(1):54-55.
654. 本城秀次. 家庭内暴力を伴う登校拒否児の臨床精神病理学的研究. 小児の精神と神経(0559-9040) 1987;27(3):147-176.
655. 本城秀次, 金子寿子, 名和美幸. 登校拒否像の時代的変遷について. 児童青年精神医学とその近接領域(0289-0968) 1987;28(3):183-191.
656. 名倉理志, 清水宗夫, 加藤正明. DSM-3 Conduct Disorder の診断基準に関する諸問題. 臨床精神医学(0300-032X) 1987;16(7):1007-1016.
657. 和田起代子. 家庭内暴力の心理治療 箱庭療法を通して. 通信医学(0387-1320) 1987;39(1):54.
658. Kaneko S, Sato T, Hirayama N. 長期血液透析による精神合併症 精神的および総合管理の重要性. The Japanese Journal of Psychiatry and Neurology(0912-2036) 1986;40(4):559-570.
659. 安香宏. 非行と校内暴力. In: こころの科学

- (0912-0734); 1986; 1986. p. 72-78.
660. 桶村博. いじめ・登校拒否・家庭内暴力. 日本医師会雑誌(0021-4493) 1986;96(9):1488-1492.
661. 加室弘子. 家庭内暴力. In: こころの科学(0912-0734); 1986; 1986. p. 85-90.
662. 玉置暢子, 渡辺洋一郎, 渡辺昌祐. 精神症状を呈したクローン病の3例. 精神医学(0488-1281) 1986;28(10):1155-1162.
663. 兼頭吉市. 校内暴力から集団いじめへ 出口のない攻撃性. In: 精神科MOOK; 1986; 1986. p. 136-145.
664. 高頭忠明. 家庭内暴力とその背景. In: 精神科MOOK; 1986; 1986. p. 26-32.
665. 高木州一郎. Anorexia NervosaとBulimiaの臨床症状の比較検討. 心身医学(0385-0307) 1986;26(7):558-568.
666. 佐々木淑子, 村田忠良, 笠原敏彦. 思春期100症例のロールシャッハ・テスト 新しい分析方法の試み. ロールシャッハ研究(0289-3177) 1986;28:89-102.
667. 佐藤喜一郎. 小・中学生の精神症・心身症児といじめ その特徴と学校との連繫上の問題点. In: 神奈川県精神医学会誌(0288-9617); 1986; 1986. p. 90-91.
668. 三原竜介. [私の治療'86(1)] 家庭内暴力. 臨床精神医学(0300-032X) 1986;15(6):967-971.
669. 三原竜介. 登校拒否と非行. 社会精神医学(0388-2564) 1986;9(1):29-35.
670. 三原竜介, 市川光洋. 登校拒否の臨床的研究 家庭内暴力による分類を中心に. 児童青年精神医学とその近接領域(0289-0968) 1986;27(2):110-131.
671. 山根知英子, 堀祥子, 村山隆志. 思春期に向精神薬を要したローレンス・ムーン・ビードル症候群の1例. 交通医学(0022-5274) 1986;40(5):277-281.
672. 柴田応介, 井上薫子, 石田スミ子. スーパービジョンを受けた家庭内暴力の家族療法の一症例. 家族療法研究(0910-6022) 1986;3(1):59-64.
673. 若林慎一郎, 本城秀次, 杉山登志郎. 登校拒否の実態. 社会精神医学(0388-2564) 1986;9(1):9-14.
674. 宿谷幸治郎. 家庭内暴力と心身症 著明な結びつきをみせた1症例. 心身医学(0385-0307) 1986;26(4):366.
675. 小野智子. 登校拒否および家庭内暴力患者への援助. In: 日本看護学会 17回集録; 1986; 1986. p. 152-154.
676. 松本和代. 家庭内暴力に至った女子中学生の看護母子相互の受容的理解が得られるまで. 医療(0021-1699) 1986;40(増刊2):275.
677. 杉浦康夫. 家庭内暴力を主訴としたケースの家族会について. 社会精神医学(0388-2564) 1986;9(2):181-182.
678. 川谷大治. 自立への第一歩としての家庭内暴力 破壊される環境への治療的介入について. 精神分析研究(0582-4443) 1986;30(4):223-226.
679. 中村剛. [社会・文化精神医学における事例研究 神経症] ヒステリーの事例研究 社会・文化精神医学の立場から. 社会精神医学(0388-2564) 1986;9(2):121-127.
680. 長畑正道, 南風原幸子, 田中信介. 小・中学生の「いじめ」の実態 「いじめっ子」9例の調査結果を中心に. 小児の精神と神経(0559-9040) 1986;26(2):79-93.
681. 伝田健三. 登校拒否, 家庭内暴力を呈した児童に対する合同家族面接. 精神神経学雑誌(0033-2658) 1986;88(4):355.
682. 二宮正人. 校内暴力をきっかけに発症した重症対人恐怖の1症例. 神奈川医学会雑誌(0285-0680) 1986;13(1):211.
683. 麦島文夫. [小児科外来におけるフォローアップ・ガイドライン] 身体の障害や心の問題のある子ども 家庭内ならびに校内暴力. 小児科診療(0386-9806) 1986;49(4):769-771.
684. 北西憲二, 豊原利樹. 治療関係が長期にわたる患者 どのような人が長びくか 不安神経症を例として 森田療法の立場から. 精神療法(0916-8710) 1986;12(2):110-116.
685. 木藤茂男. 「いじめ」を考える. In: こころの科学(0912-0734); 1986; 1986. p. 148.
686. 鈴木恵, 川久保芳彦. 子供の家庭内暴力および登校拒否にひき続き母親の症状出現を見た一症例 治療期間中にみせた家族変化について. 家族療法研究(0910-6022) 1986;3(1):50-58.
687. 遠藤正俊, 八島祐子. こどものいじめ. Medical Way 1985;2(8):84-89.
688. 加室弘子. 家庭内暴力事例の相談過程(その1) 回復過程とその要因. 児童青年精神医学とその近接領域(0289-0968) 1985;26(1):38.
689. 加室弘子. 家庭内暴力事例の相談過程(その2) 親の相談過程. 児童青年精神医学とその近接領域(0289-0968) 1985;26(1):38-39.
690. 加室弘子. 家庭内暴力事例の相談過程(その3) 子どもの相談過程. 児童青年精神医学とその近接領域(0289-0968) 1985;26(1):39-40.
691. 笠原敏彦, 安田素次, 林下忠行. 過食症(Bulimia)の臨床的検討 症候学的特徴について. 精神神経学雑誌(0033-2658) 1985;87(8):521-545.
692. 笠原敏彦, 千葉達雄. 醜形恐怖の1女性例. 臨床精神病理(0389-3723) 1985;6(2):191-200.
693. 宮田てるよ. 家庭内暴力のケースと関わりを持って. In: 精神保健(0912-6589); 1985; 1985. p. 68.
694. 橋本巖. 子どもの共感的理解に及ぼす状況提示様式の効果教育心理学研究 1985;33(1):81-86.
695. 高橋紳吾. 思春期の暴力. 東京の精神衛生 1985;5(2):3-4.
696. 国谷誠朗, 本多裕. 登校拒否・自殺企図・家庭内暴力を繰り返した青年期症例に対する家族療法の経験. 臨床精神医学(0300-032X)